

中学校 公民046-92『中学生の公民 よりよい社会を目指して』

令和7(2025)年度版  
内容解説資料

「教科書発行者行動規範」に  
則った資料です。



中学校社会科Web  
もご覧ください。

文部科学省検定済教科書

46 帝国

公民 046-92

中学校社会科用



社会科  
中学生の  
公民

よりよい社会を目指して

主体的に社会に参画する  
意識を育む教科書

帝国書院

# 主体的に社会に参画する意識を育む教科書

## 社会をよりよくしようとする姿勢の大切さ



↑巻頭1 海岸で清掃活動をする中学生（佐賀県唐津市）

自分の住む地域のこれらについて考え、よりよくしようとする大切さを知ることができる。

## 自分の住む地域の取り組みに参画することの大切さ



↑巻末2-3 地域の防災活動に参画する中学生（2023年）（兵庫県神戸市）

地域社会の一員として、自ら考え行動する力を高められる。

## 労働を通して、社会参画することの大切さ



↑p.139 4 N社の職場（神奈川県川崎市）

さまざまな人たちが働く様子を通じて、社会参画の大切さを知ることができる。

## 政治に参画することの大切さ



↑p.106 少年議会（2021年）（山形県遊佐町）

同世代が行っている少年議会を例に、主体的に政治に参画することの大切さを考えることができる。

## 世界平和と国際協力に目を向けること大切さ



↑巻頭2 避難民の生活支援をする日本のNPO（ウクライナ）

世界の紛争や貧困などに目を向け考えることで、国際的な視野を育むことができる。



↑巻末2-3 地域の防災活動に参画する中学生（2023年）（兵庫県神戸市）

# 『社会科 中学生の公民』に込めた想い

主体的に社会に参画する意識を育む教科書を目指して

著者代表 筑波大学 名誉教授 江口勇治  
帝国書院 編集部

先生方は、自分の学習指導にどんな想いを込めていますか？

本書では、そんな心ある先生方の想いの手助けになればと考えて作りました。

中学校の子どもたちは、情報化・グローバル化・高齢化や環境破壊・自然災害など社会変動・変化に直面しています。そのため自分自身が住む社会の諸課題から逃避することなく、社会の構成員として、諸課題の解決に主体的に参画・挑戦する子ども像をもとに、それらに必要な知識・理解・技能・態度などを育成したいという思いから、教科書づくりを進めました。まさに生徒・先生・社会のいろいろな人々の社会に込められた想いやそのための見方・考え方を描こうとしました。とくに地域社会・政治・経済・国際社会などの課題とそのしぐみをわかりやすく示し、あわせて社会参画で活用するスキルを示しました。さらに「自ら問い、考え、判断し、行動する」子どもたちが、みんなの問題解決に協働してあたり、より良い社会づくりが行えるような活動例を示しました。

この公民的分野の学習は地理的分野・歴史的分野を踏まえた上での、あるべき社会づくりに参画する子どもたちの総まとめです。ぜひ本書を生かして、先生方の教育への想いが、かなうことを願います。また子どもたちの幸福や夢への想いが、かなうことを願います。

## 本資料のもくじ

特色 1	「自分ごと」として社会に参画する意識を育む内容	5
	社会参画の意識を育むことができる本文記述	5
	中学生の目線がかみ砕いた表現の本文	9
特色 2	実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料	11
	学習内容を俯瞰してイメージできるイラスト「学習の前に」	11
	身近な事例から、実感をもって学習できる「導入の具体事例」	15
特色 3	「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成	19
	見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援	19
	対話を通して学びを深める「アクティブ公民」	29
特色 4	「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育む工夫	33
	SDGsへの意識を高める「未来に向けて」	33
特色 5	「個別最適な学び」を支援するコンテンツ	37
	一人一台端末で活用できるQRコンテンツ	37
各部紹介		41
その他の特色	「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫	45
社会科3分野共通の特色／サポート／特色一覧		
社会科3分野共通の特色	①3分野の連携を図った10のポイント	49
	②学習がより深まる他分野および地図帳との連携 ～「未来に向けて」を活用して～	51
サポート	①インクルーシブ教育への対応	53
	②教師用指導書	55
	③デジタル教科書・教材	57
特色一覧	①教育基本法との対応	59
	②検討の観点から見た内容の特色	61
	『社会科 中学生の公民』の全体構成(もくじ)	65
	『社会科 中学生の公民』著作関係者	66

※本資料に掲載している教科書紙面は、見本本と一部内容が異なる場合があります。

# 「自分ごと」として社会に参画する意識を育む内容

## 社会参画の意識を育むことができる本文記述

各部の本文記述は、社会のしくみの解説にとどまらず、学習内容が、社会の中でどのような意義をもっているかにまで言及しています。生徒が、「自身が社会とどのように関わってくるのか」をイメージしやすく、社会に関わる意欲や関心を引き出す記述になっています。

↓p.106-107



### ポイント

中学生も参加する「少年議会」の事例を紹介し、政治参加への関心を高められるようにしています。

### 中高生による少年議会 (山形県遊佐町)

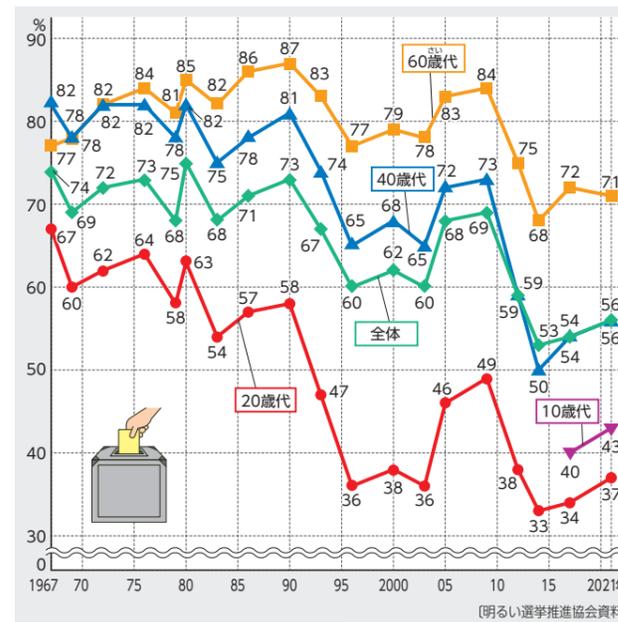
山形県遊佐町では、若者の力によるまちづくりを目指し、2003年度から少年議会が開催されています。遊佐町在住・在学の中高生から「少年町長」1名と「少年議員」10名が、町内の中高生による投票で選ばれます。議員たちは定期的に議会を開き、45万円の独自予算をもち、提言をまちの政策に反映させることができます。



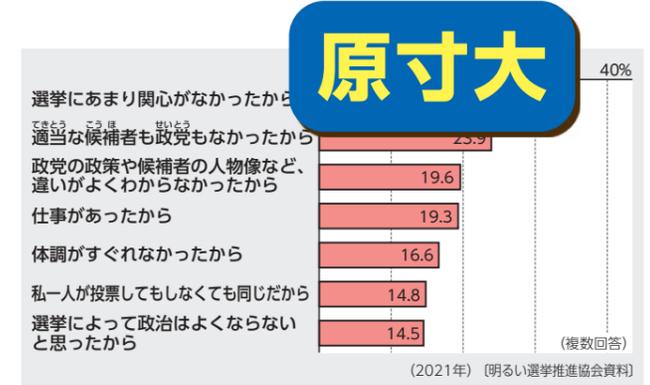
少年議会が制作したオリジナルかるた(2021年) 読み札は広報で募集し、絵札の作画はすべて少年議会で行いました。

↑1少年議会(2021年)

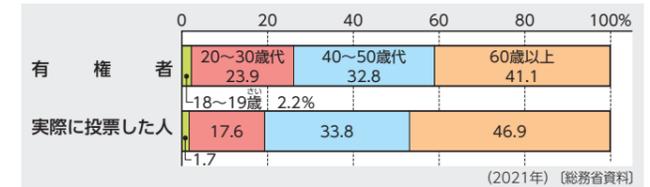
対話 少年議会は、若者の政治参加においてどのような意味があるのだろうか。



↑5衆議院議員選挙の年代別投票率



↑6投票に行かなかった理由



↑7有権者と実際に投票した人の年代別割合 資料活用 有権者と実際に投票した人の割合が異なるのはなぜだろうか。

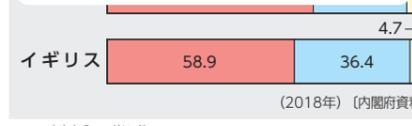
## 4 私たちと政治参加

3節の問い 地方の政治を発展させるために、私たちは何ができるのだろうか。

間接的	制度あり	制度なし
選挙 (→ p.82)	国民審査 (→ p.67, 95)	圧力団体 (→ p.81)
憲法改正の国民投票 (→ p.69)	直接請求権 (→ p.103)	住民運動 (→ p.103)

↑3さまざまな政治参加の方法

ポイント 若者が投票を棄権すれば若者の声が政治に反映されにくくなることから、若者の政治参加が大切なことを解説しています。



↑4若者の政治に対する関心度

私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。

若い世代の政治参加 これまで、国や地方の政治と私たちの関わりについて学んできました。しかし、国民の間で政治に対する無関心が広がっているといわれています。近年の選挙では、若い世代の投票率が他の世代より低い傾向が続いています。

若者の多くが投票を棄権していると、政治家は投票する人の多い年長の世代が抱える問題を優先して取り組むようになるかもしれません。急速に進む少子高齢化によって、日本の人口に占める若者の割合は減り続けています。若者の意見を政治に反映していくためには、今まで以上に若い世代の積極的な政治参加が求められています。

社会参画と政治への影響 みなさんは、たった一人の意見では政治に影響がないと思うかもしれません。日本の若者は世界に比べ、政治に対する関心が低いという調査もあります。しかし民主政治の下では、世論の支持がなければ政治を行うことはできません。世論調査で支持率が低下すると、内閣は総辞職や衆議院の解散を迫られるので、私たちは立場の違いにかかわらず、意思を表明し続けることが大切です。また、中学生の請願活動によって路上喫煙禁止条例が制定された例や、市町村合併の是非を問う住民投票

に中学生が投票した例もあります。私たちが積極的に政治参加することによって、社会をよりよいものに変えていくことができます。

私たちが担う未来の政治 民主主義においては、選挙の日に一票を投じることはもちろん、これまで学んださまざまな方法で、主権者としての意思を政治に反映できます。そのほかにも、まちづくりなどについて考えたことを地方議会に提言する子ども議会や、インターネット上での署名活動など、中学生が今すぐ政治に参加できる方法もあります。まずは、私たちの生活により身近な、地方の政治について考えてみることから始めてみましょう。

私たちの身の回りには、意見が対立する社会的な問題が多く存在しています。私たちは個人の尊重や法の支配といった考え方を大切にしながら、こうした対立を調整して合意をつくり、問題を解決していくことが求められています。これからの将来を見据え、よりよい社会をつくり出していくためにも、私たち一人ひとりが積極的に社会づくりに参画していくことが大切です。

日本の政治の未来は、私たち自身の意思決定によって決まります。よりよい社会を実現していくための政治のあり方やしくみ、また私たち自身がどのように政治に参加していくべきなのかについて、学習してきたことをもとにしながら、自分なりに考えてみましょう。

ポイント グラフから若者の投票率の低下を読み取ることで、若者の政治への無関心が現実の政治に与える影響について考えることを促します。

↑8中学生も投票した住民投票(2003年) 長野県平谷村では、他市町村との合併をめぐる、全国で初めて中学生以上の村民を対象とした住民投票が行われました。

ポイント 社会参画や政治参加について、自分なりに考えることの大切さを語りかけています。

# 「自分ごと」として社会に参画する意識を育む内容

## 社会参画の意識を育むことができる本文記述

経済単元の「企業」の学習では、生徒が「働くことの意義」や、多様化していくこれからの労働現場とどのように関わっていくのかを考えられるようにしています。

### ポイント

導入では、さまざまな人々の働きで社会が支えられていることを、身のまわりの実例から実感できます。

↓ p.138-139



**私たちの生活を支える人たち**  
私たちの日常は、さまざまな人々の働きによって支えられています。例えば、医師や看護師、行政サービスに携わる公務員、公共交通機関の職員、生活必需品を売るお店の店員やごみ収集作業員などです。このほかにも、あらゆる職業において一人ひとりが自分の役割を果たすことで、社会は形づくられています。

← 1 さまざまな職業で働く人々  
a 医療関係者  
b バスの運転手  
c スーパーマーケットの店員  
d ごみの収集作業員

☑ 対話 あなたは将来何を重視して仕事を選択したいだろうか。

### ポイント

働くことの意義は、経済的な自立だけでなく、社会を支える一員となることで、生きがいや充実感を抱くことにあることまで言及しています。

### 4 働くことの意義と労働者の権利

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

項目	内容
労働条件	労働条件の決定は、労働者と使用者は対等(2条)
賃金	男女同一賃金の原則(4条)
労働時間・休日	労働時間は週40時間、1日8時間以内(32条) 毎週少なくとも1日の休日(35条)
最低年齢	15歳未満の児童の使用禁止(56条)
出産・育児	産前6週間(請求があった場合)、産後8週間は働かせてはならない(65条) 産後1年間は1日2回各30分以上の育児時間を請求できる(67条)

↑ 2 労働基準法の主な内容



138 小学校・地理・歴史・他教科との関連 労働組合(歴) 外国人労働者(地)

私たちがよりよい生活を実現するために、労働者の権利は法律によってどのように保障されているのだろうか。

### 働くことの意義

私たちは働くことでお金を稼ぎ、自分や家族の生活を支えます。しかし、それだけが働くことの意義ではありません。例えば、バスを運転する人がいることで私たちがバスを利用できるように、人々が分業してそれぞれの職業で働くことで、社会が成り立っています。自分の個性や能力を生かして社会とつながり、社会の支え手になることは、働くことへの意識を高め、私たちの生きがいや充実感にもつながります。

### 労働者の権利

企業にとって労働者は、生産を行ううえで欠かせないものです。一方で、企業にとっては、労働者はできるだけ安い賃金で長時間働いてもらえれば都合がよいかもしれません。しかしそれでは、労働者の権利が守られません。そこで日本国憲法では、労働基本権(労働三権)が保障されています。労働基本権を具体的に保障する法律として、労働条件(賃金・労働時間など)の最低基準が労働基準法で定められています。労働者が使用者(経営者)と労働条件を交渉するために、労働組合を結成する権利は、労働組合法で認められています。労働者と使用者の対立を予防・解決するために、労働関係調整法も定められています。

### 障がいがあっても働ける場を(神奈川県川崎市)



学校で使うチョコレートなどを製造・販売するN社は、従業員の約7割が知的障がいのある人です。N社ではそれぞれの理解力に合わせて、作業工程を工夫しています。例えば、チョコレートを入れるだけで品質検査できる器具を用いるなどして、社員の能力を引き出す環境づくりに努めています。

働く機会の提供 すべての人が生きがいをもって働けるよう、働く意欲のある人々には、性別・年齢・障がいの有無などを問わず、働く機会が広く提供されることが重要です。

しかし、日本では、女性の労働力率(労働力人口の割合)が欧米諸国に比べて低い水準にとどまってきました。その背景には、かつては「男は仕事、女は家庭」といった意識が根強かったことも挙げられます。そこで1986年には男女雇用機会均等法が施行され、職場での男女平等が定められました。また高齢者の雇用については、希望者全員が65歳まで働くことができる制度を整えること、障がいのある人の雇用については、一定の従業員数以上の企業には、一定の割合以上雇用することが義務づけられています。

外国人労働者を積極的に雇用する企業も増えています。しかし、外国人であることだけを理由に労働条件で不利な扱いを受けるなどの問題も起きています。近年では高い専門知識や多様な価値観をもつ外国人労働者の雇用が広がるほか、人手不足が続く介護や建設、農業などの分野で受け入れ体制の整備も進められています。ダイバーシティ(多様性)を尊重して、多様な人を積極的に受け入れることは、組織内のアイデアを活性化させることにもつながり、企業にとっても重要性が高まっています。

p.116-117(学習の前に)を振り返る 働く高齢者(B-3など)、外国人労働者(A-3、B-1)

アクティブ公民

パン屋さんをつくらう

④ 従業員を募集しよう

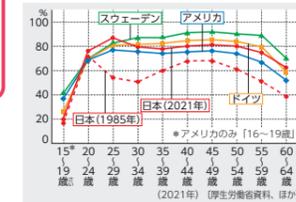
あなたはパン屋さんの従業員募集のために求人広告をつくっているとします。問題がある求人広告の例

オープニングスタッフ募集!

【仕事内容】 パンの製造・販売

【資格】 未経験者・外国人歓迎!  
製造担当は男性限定

【社員】  
月給22万円～ 時間8時～20時  
【アルバイト】  
時給600円～ 時間1日4時間～  
※ただし試用期間中は無給  
TEL: 〇〇〇-△△△-□□□



2節 企業と生産



労働者の権利を保障している三つの法律を、本文から書き出してみよう。

働くことの意義について、「分業」「社会」という言葉を用いて説明してみよう。

139

### ポイント

コラムでは、障がいがあっても、働く意欲のある人に働く機会が与えられている例を示しています。幅広い社会参画の例を通して、社会参画の意識を育むきっかけとしています。

### ポイント

多様性を踏まえた雇用が企業の活力につながる可能性にまで言及しています。今後、企業に就職した際に、自分たちがそうした労働現場と、どう関わっていくのかを考え、社会参画の意識を育むことにつながります。

### ポイント

とくに節末や項末では、学習内容を「自分ごと」として考え、「社会参画」の意識を育むことを促す記述にしています。

### 「社会参画」の意識を育む記述があるページ 一覧

ページ	小見出しタイトル	ページ	小見出しタイトル	ページ	小見出しタイトル
p.33	立憲主義の考え方	p.89	国会の審議における課題	p.133	私たちと企業
p.35	法の支配とは	p.97	司法のあり方と私たち	p.149	デジタル通貨とは
p.61	情報社会における権利とその課題	p.103	住民参加とまちづくり	p.161	環境問題と循環経済
p.69	憲法の改正	p.105	持続可能なまちづくり	p.165	これからの財政
p.77	国会議員の役割	p.107	私たちが担う未来の政治	p.173	日本経済のこれから
p.79	ソーシャルメディアとメディアリテラシー	p.127	自立した消費者		

# 「自分ごと」として社会に参画する意識を育む内容

中学生の目線がかみ砕いた表現の本文

## A 政治単元の例

**基本的人権とは** 現代の日本で暮らす皆さんは、理由もなく逮捕されない、好きな本を読む、小学校や中学校で勉強できる、といったことを当たり前と思うでしょう。しかし昔は、必ずしもそうではありませんでした。では、なぜ私たちは、自由で豊かな生活ができるようになったのでしょうか。

それは、理由なく逮捕されない権利、表現の自由、差別されない権利などが、すべての人が生まれながらにして持つ権利である人権(基本的人権)として、保障されるようになったからです。

←p.34

### ポイント

日々の暮らしが、「基本的人権として保障されている」ことで成り立っていることを、日常の風景を例に丁寧に説明することで、基本的人権の意味を「自分ごと」として理解できるようにしています。

第2部「政治」では、以下の概念を「～とは」という見出しを用いて、本文で解説しています。

国家権力	p.32	法の支配	p.35	社会権	p.54	政党の役割	p.80
基本的人権	p.34	個人の尊重	p.44	民主政治	p.76	議員内閣制	p.91

## B 経済単元の例①

**企業とは** 私たちの身の回りには、さまざまな商品(モノやサービス)があふれています。これを生産している組織や個人を、企業(生産者)とよびます。生産には労働が必要なことから、企業は人々に働く場(雇用)を提供しています。

企業は、新たな商品の開発・生産や、技術の開発などといった技術革新(イノベーション)にも取り組んでいます。例えばスマートフォンの登場は、私たちのほかの人とのつながり方、買い物のしかた、ドラマや小説や漫画などの楽しみ方、情報入手のしかたを劇的に変化させ、生活を一変させました。技術革新は、企業が果たす重要な役割であり、社会の発展にもつながるのです。

←p.132

### ポイント

身のまわりのモノを生産したり、働く場所を提供しているのが企業であること、生徒の身近にあるスマートフォンを利用した生活も企業の技術革新から生まれたことを理解できます。企業を身近な存在として学習できます。

第3部「経済」では、以下の概念を「～とは」という見出しを用いて、本文で解説しています。

経済	p.118	株式会社	p.135	日本銀行	p.152	景気変動	p.168
流通	p.124	市場経済	p.146	財政	p.156	経済成長	p.168
契約	p.126	デジタル通貨	p.149	社会資本	p.160	為替レート	p.170
企業	p.132	金融	p.150	社会保障	p.162		

基本的人権や市場経済などの抽象的な概念や理解が難しい制度・事象については、中学生の目線でもわかりやすくかみ砕いた表現の本文にしています。とくに重要な概念は、「～とは」という見出しを用いて表現し、その後に端的な定義や解説、身のまわりの事例が続くように工夫しています。

## C 経済単元の例②

**市場経済とは** 家計と企業の間や、企業どうしの間では、モノやサービスをめぐって「分業と交換」が行われています。そういった商品を売買する場を市場といいます。そして、市場を通して商品を売買するしくみを、市場経済といいます。この市場を通じて商品の価格が決定されます。

**価格の働き** 私たちのお金の使い方は、価格によって影響を受けます。商品の価格が高くなると、消費者はより多くお金を支払わなければならないので、買う量(需要量)を減らそうとします。これに対し、その商品を生産する企業は、価格が高くなればその分利益が増えるので、つくる量(供給量)を増やそうとします。このように価格は、消費者が需要量を決め、生産者が供給量を定める目安となります。この価格の働きによって、商品だけでなく労働力やその他の資源も、効率的に配分されています。

←p.146

### ポイント

市場を通じて行われる商品の売買のしくみが市場経済であり、商品価格は、この市場で決定されることをわかりやすく解説しています。

## D 経済単元の例③

**金融とは** お金を貸したい人と借りたい人がいても、互いを見つけるのは大変です。これを仲介するのが銀行です。銀行は、家計や企業が預けたお金(預金)を使って、お金を必要とする家計や企業に貸し出しています。このように、お金が余っている家計や企業から、お金が足りない家計や企業に、お金を融通するしくみを金融といいます。金融は大きく2種類に分けられます。銀行などの金融機関からの借り入れで資金を集めるしくみが間接金融です。株式や債券の発行などにより企業が投資家から直接資金を集めるしくみを直接金融といいます。

**金融機関の役割** 銀行などの金融機関は、家計や企業にお金を貸し出して、返済されるときに利子(利息)が上乘せられた金額を受けとります。一方、家計や企業からお金を預かり、金融機関は決まった日に利子を支払います。1人の預金は少なくとも、多くの人から預金が集まれば、大きな金額を貸し出すことができます。また、金融機関は家計や企業間での送金や決済の役割も果たしています。

←p.150

### ポイント

「金融」とは「お金を借りたい人に貸したい人が融通すること」であり、この仲介を行うのが銀行などの金融機関であることを、わかりやすく説明しています。

学習を深められる様に配列を構成しました。詳しくは本資料p.41～44

第1部「現代社会」では、以下の概念を「～とは」という見出しを用いて、本文で解説しています。

持続可能な社会	p.5	グローバル化	p.8	効率	p.18
情報社会	p.6	少子高齢社会	p.10	公正	p.19

第4部「国際」では、以下の概念を「～とは」という見出しを用いて、本文で解説しています。

主権国家	p.184	脱炭素社会	p.200
------	-------	-------	-------

# 実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

## 学習内容を俯瞰してイメージできるイラスト「学習の前に」

第2部第1章の冒頭「暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう」では、自分たちの暮らしの一場面が、憲法とどのように関わっているか、小学校や地理的分野・歴史的分野での学習を踏まえて考えられるようにしています。

p.30-31

### 学習の前に



2部1章(p.30~73)

## 暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう



ワークシートなど

### TRY1

下のイラストは、「はるの市」にある「さくら野商店街」周辺のまち並みです。イラストを見ながら、私たちの暮らしが憲法とどのように関わっているか、小学校や地理・歴史で学習したことを踏まえて考えてみましょう。

① 次の場面は、イラストの①~⑦のどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 国民主権(国民が国の政治のあり方を決めること)に関わる場面(→ p.38) ( )
- ② 平和主義(武力行使と戦争を放棄し、戦力と交戦権をもたないこと)に関わる場面(→ p.40) ( )
- ③ 基本的人権の尊重(すべての人が生まれながらにして持つ権利を尊重すること)に関わる場面(→ p.34, 44~63) ( )

### TRY2

① イラストから、あなたが考える困っている人や課題がある場面を探し、その具体的な内容を表にまとめてみよう。

困っている人や課題がある場面	内容
例) C2	前を歩く人のたばこの煙がかかる

② 対話 ①でまとめた表を周りの人と持ち寄って、より多くの課題を探してみよう。

イラストから、**原寸大**の課題を見つけよう。2部1章では、する憲法について学習しよう。下の「1章の問い」を通して、学びを深めていきましょう。

1章の問い 民主的な社会をつくるために、私たちはどのように憲法をとらえ、考えていくべきなのだろうか。

→ p.71で振り返ろう



# 実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

## 学習内容を俯瞰してイメージできるイラスト「学習の前に」

### 学習の前に 掲載ページ一覧(全5か所)

部	分野	タイトル	ページ
第1部	現代社会	45年前と今の社会を比べてみよう	p.2-3
第2部	政治	暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう	p.30-31
		みんなが暮らしやすい社会をつくろう	p.74-75
第3部	経済	暮らしのなかから経済を探してみよう	p.116-117
第4部	国際	地球的課題を探してみよう	p.182-183

### ポイント

TRY1で、イラスト内にある経済活動の場面を探すことで、「自分たちの暮らし」の中の経済を認識できます。

### さくいんグリッド

地図帳の索引記号のように、記号を使って位置を確認することができます。

### ポイント

TRY2で、「交換」の場面を探すことで、身のまわりに多くの経済活動があることが実感できます。

↑p.116-117

### 学習の前に

3部1章(p.116~180)

## 暮らしのなかから経済を探してみよう



ワークシートなど

### TRY1

下のイラストは、「はるの市」の「若木地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物をしたり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているか、考えてみましょう。

① 次の場面は、イラストのA~Fのどれに当たるか、( )に記号を入れてみよう。

- ① 購入する商品の代金を支払っている (→p.122) ( )
- ② 店長から給与を受けとっている (→p.138) ( )
- ③ スマートフォンの契約内容を確認している (→p.126) ( )
- ④ 市の作業員がごみを収集している (→p.156) ( )
- ⑤ ATM(現金自動預け払い機)を利用している (→p.150) ( )
- ⑥ パン用の小麦を受けとっている (→p.132) ( )

### TRY2

① イラストから、人と人との間で交換が行われている場面を探してみよう。(ヒント：モノとモノの交換だけでは限りません)

誰と誰	交換しているもの
例) B3 客と店員	お金と商品

② 対話①の表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。

イラストから、さまざまな経済活動を見つけることができましたか。3部1章では、家計(消費者)、企業、政府などの視点から、経済のしくみや財政のあり方について学習します。下の「1章の問い」を通して、学びを深めていきましょう。

**1章の問い** 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。



→ p.176で振り返ろう

### 単元の導入資料として

「章の問い」を掲載しています。TRYで取り組んだ活動の流れで、単元の学習の見通しを立てることができます。

### 本文との関連

● **本文との関連①**  
本文にある「企業」の内容を「学習の前に」のイラストでも確認できます。また、イラスト内の場所も明示しています(左の図中を参照)。

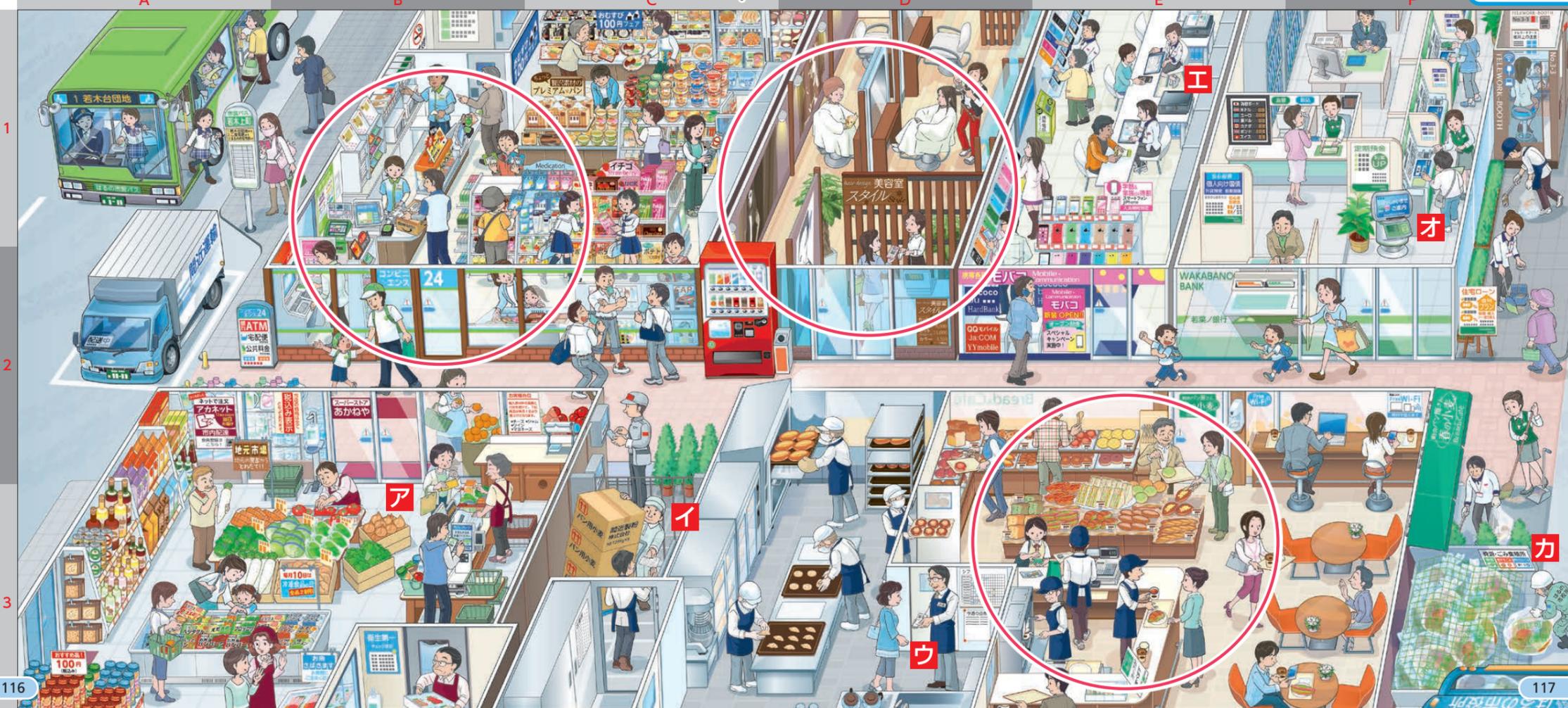
企業とは 私たちの身の回りには、さまざまな商品(モノやサービス)が売られています。これらを生産している組織や個人を「企業(生産者)」よびます。生産には労働が必要なことから、企業は人々に働く場(雇用)を提供しています。

↑p.132

● **本文との関連②**  
さらに、本文ページの下部に「<学習の前に>を振り返る」を設置し、本文と関連付けているので、本文の理解が深められます。

p.116-117(学習の前に)を振り返る 企業(コンビニエンスストア(B-1)、美容室(D-1)、パン屋(E-3))

↑p.133



# 実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

身近な事例から、実感をもって学習できる「導入の具体事例」

各見開きでは、導入資料で興味・関心を引き出す→本文記述で知識の定着を図り、深める→側注で本文の理解を助ける→コラムで生徒の理解の幅を広げる内容構成とし、生徒の「学び心」を引き出します。

p.136-137

### ポイント

導入資料では、生徒に身近な「回転ずし」を取り上げ、興味・関心を引き出し、「対話」で、企業の競走について考えられるようにしています。



### すし業界の激しい競争 本資料p.17-18

**A社**  
すしネタはもちろん、ラーメンなどの**サイドメニュー**も他社にない独自のものを多数用意しました。

**B社**  
すし店以外にうどん店などを**経営**しています。食材をまとめて購入して費用を下げ、**低価格**を実現しました。

**C社**  
価格は他社よりも割高ですが、産地直送で厳選された旬の食材を使用するなど、ネタの**鮮度**にこだわりました。

←1回転ずし店のカウンター  
対話 上の3社はそれぞれどのような工夫をしているのだろうか。

### 未来に向けて

### ビッグデータを生かした経営戦略(大阪府吹田市) 情報・技術

大手回転ずしチェーンのA社では、皿につけられたICタグを使って、毎年10億件以上の注文された商品や時間帯などのデータ、いわゆるビッグデータ(→p.7)を蓄積しています。このシステムを導入したことで、地域による違いや時間帯による違いを把握でき、すしの需要を高い精度で予測したり、商品の製造量をコントロールしたりできるようになりました。その結果、すしの廃棄量は導入前に比べて約4分の1に減少しました。



↑3皿につけられたICタグ

## 原寸大

ライバル店に対抗しよう

Q あなたのパン屋さんの周辺には価格が売りのライバル店があります。4を参考に、ライバル店に負けないセールスポイントを考えましょう。

味がよい	72.8
焼きたてである	42.0
品数・種類が豊富	34.0
品質がよい	30.2
パンの香りがよい	25.9
ベーカリー*にしかないパンがある	24.6

\*ベーカリーとは、店内で焼いたパンを販売する店のこと (複数回答)  
(2016年) (マイボイスコム株式会社資料)

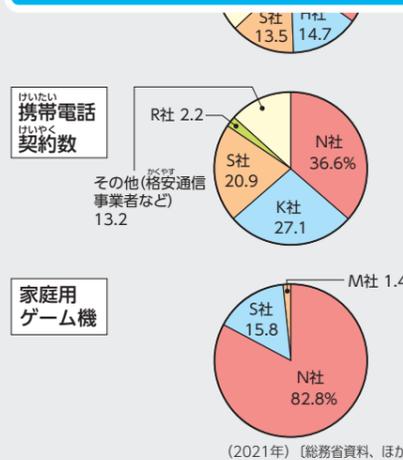
↑4ベーカリーでパンを購入する理由

## 3 企業の競争と独占

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

### ポイント

導入資料の「対話」で考えた企業の競争は、「企業が成長する原動力」にもなることを、わかりやすく説明しています。



↑2生産の集中 資料活用 上の三つのなかで最も生産が集中しているものは何だろうか。

学習課題 企業の競争は、私たちの生活にどのような影響をもたらしているのだろうか。

### 企業の競争

企業は売り上げや利益を増やすために、ほかの企業と競争しています。一般に、競争に勝つのは品質のよい商品を安く提供できる企業です。負けた企業は市場から撤退することになります。他方、ライバル企業との競争は、優れた商品が世の中に送り出されることにもつながります。競争は経済が成長する原動力でもあるのです。近年は、地球環境問題や人権問題などの世界的な課題にどのように向き合っているかという点も社会に評価され、企業の競争力を左右するポイントになっています。

### 競争の形態はさまざまです。

例えば、鉄道と航空は異なる産業ですが、人を輸送するという意味ではライバル企業です。一方、同じ衣服を生産する産業でも、スポーツウェアと高級ブランドでは、購入する人や目的が異なるため、必ずしもライバル企業になるとは限りません。

### 競争が起きにくい状況

競争が起きにくい状況もあります。機械の購入や工場の建設などの設備投資や、研究、開発に多額の費用がかかる商品と考えましょう。線路や車両が必要な鉄道のように、生産を始めるのに大きな設備投資が必要な産業では、

### ポイント

「回転ずし」の例を用いて、技術革新を用いた企業の取り組みを紹介しています。

新品(モノやサービス)一つあたりの種類では、新しい企業の参入が難しい独占や、少数の企業しかない寡占

また、近年では、ICT産業などで独占・寡占が生じる傾向も見られます。スマートフォンのOSなどは、利用者が多いと対応するアプリが増えて利便性がよくなり、利用者がさらに一部の企業に集中する傾向があります。しかし、独占・寡占が生じると、企業が商品を値上げしても、消費者は購入せざるをえなくなり、消費者にとって不利益になりかねません。

### 公正な競争の確保

寡占状態にある市場では、企業どうしが競争せず、話し合っ価格を高く維持する行為(カルテル)が見られることがあります。また企業間取り引きでは、部品の生産を担う下請けの中小企業に対し、大企業が仕入れの価格を下げるよう迫ることもあります。

企業の公正で自由な競争を保つために、1947年に制定された法律が**独占禁止法**です。そしてこの法律を実際に運用して、不正な行為を監視する機関としてつくれたのが、**公正取引委員会**です。公正取引委員会は、不当な価格操作などがあると、企業を摘発し、罰金の支払いを命じるなどして改めさせます。

p.116-117 (学習の前に) を振り返る パンをめぐり競争(C-1、E-3)、携帯電話会社間の競争

### 競争が行われている状態

A社 メニュー B社 価格 C社 味

1m 95円!

### 競争が行われていない状態

地域唯一

チリ産サーモン 1000円

メキシコ産まぐろ 1100円

アラスカ産いくら 1200円

↑5独占による不利益の例 競争が行われ各社が工夫している状態(上)と比べて、競争相手がいない状態(下)の例では極端に高い価格がつけられています。

### ポイント

企業間競争が、消費者にもたらす利益についてイラストを用いて説明するとともに、競争の公正さを保つための法律があることが理解できます。

# 実社会に興味をもたせる本文・イラスト・資料

## 身近な事例から、実感をもって学習できる「導入の具体事例」

### A 迫力あるワイドな写真

大きな水圧を一枚で支えられるアクリルパネルの事例から、興味・関心をもって企業の学習につなげられます。 ↓p.134



↑1 沖縄美ら海水族館に設置された幅22.5mのアクリルパネル(沖縄県本部町) この大型のアクリルパネルは、高い強度のアクリルを何層にも重ねることで、大きな水圧に耐えることができます。それにより、一本の柱も使わずに迫力ある展示が可能になっています。

☞対話☞ N社のように高い技術をもつことは、企業にとってどのような利点があるのだろうか。

### B 関連する身近な事例

身近な「アイスクリーム」の「種類別」の表示から、興味・関心をもって経済の学習につなげられます。 ↓p.126



#### 表示が異なる理由

アイスクリーム類の表示は、乳成分の量が多い順に、アイスクリーム、アイスマイルク、ラクトアイスの三つに分類されています。このような表示は法律によって定められています。

	乳固形分	うち乳脂肪分
アイスクリーム	15%以上	8%以上
アイスマイルク	10%以上	3%以上
ラクトアイス	3%以上	—

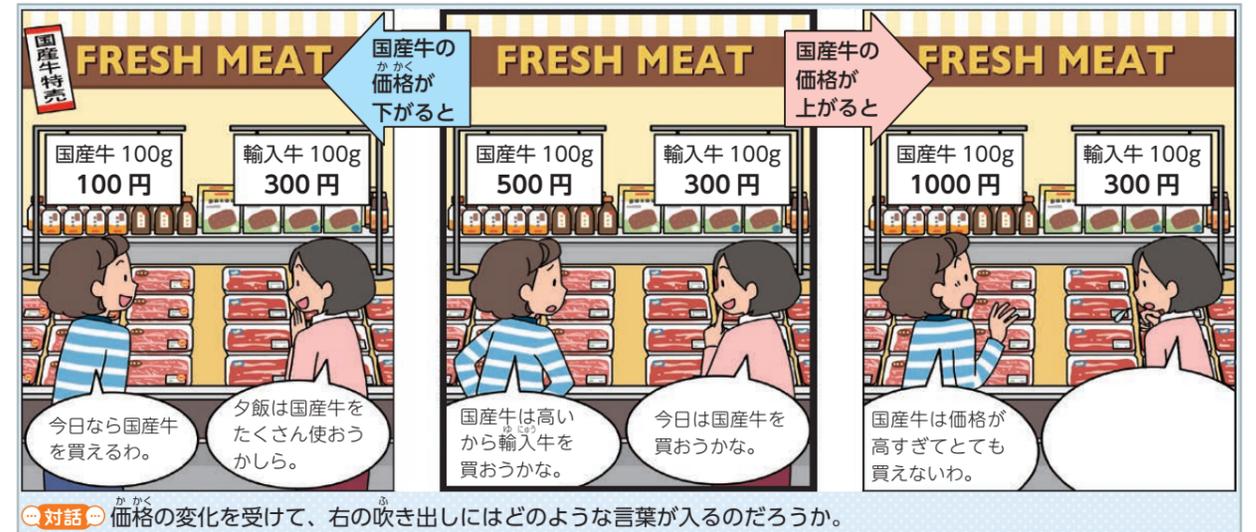
←↑1異なるアイスクリーム類の表示(左)とその基準(上)

☞対話☞ 〇のような表示が法律で定められているのはなぜだろうか。

各見開きの導入資料は、迫力あるワイドな写真やわかりやすいイラストなどを多用し、生徒に身近な事例を取り扱うようにしています。興味・関心をもって、「自分ごと」として学習に取り組みます。

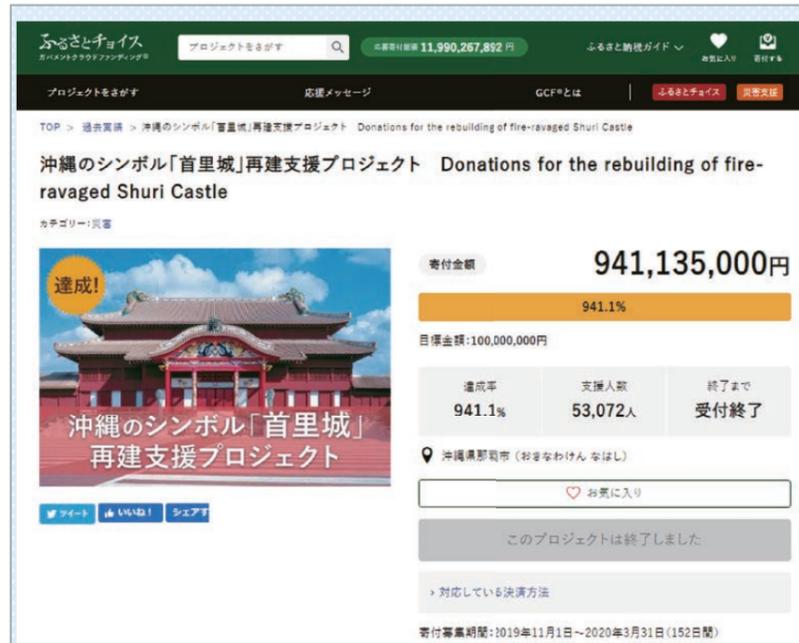
### C 学習内容を直感的に理解できるイラスト

買い物という身近な生活の一場面から、興味・関心をもって価格変動の学習につなげられます。 ↓p.146



### D 話題となった題材で、興味・関心を引く導入資料

クラウドファンディングの例から、興味・関心をもって、金融の学習に取り組みます。 ↓p.150



#### 首里城の再建に集まる支援

(沖縄県那覇市)

沖縄の歴史・文化を象徴する建造物である首里城は、2019年の火災で正殿が焼けるなど大きな被害を受けました。しかし火災の翌日には首里城の再建に向けて、インターネット上で多数の人から資金を集めるクラウドファンディングを利用した支援金の募集がはじまり、2日余りで目標額の1億円を達成しました。最終的には約5万3000人から9億円以上が集まり、首里城の再建作業に使われています。

←↑1首里城のクラウドファンディングのウェブサイト(2022年)

☞対話☞ まとまったお金を集めるには、どのような方法があるのだろうか。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

章・節を単元のまとまりとし、学習の見通し・振り返りがしやすい構成にしています。学習の見通し・振り返りを通して、学習者は「主体的・対話的で深い学び」を、指導者は「指導と評価の一体化」を実現できるようにしています。

章・節の展開 知・技 …知識・技能 思・判・表 …思考・判断・表現 主 …主体的に学習に取り組む態度

### 見通し

#### 「部扉」・「学習の前に」 主

部の冒頭には「部扉」「学習の前に」を設置しています。大きなイラストから、社会のさまざまな場面を概観する学習活動を通して、学習する内容に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができます。これにより、「主体的な学び」を実現できるようにしています。

【例】第3部「経済」(p.116-117)



↑p.115 ↑p.116-117 詳しくは本資料p.22

#### 小・地・歴アイコン

#### 小学校・地理・歴史・他教科との関連

NEW

#### 小地歴

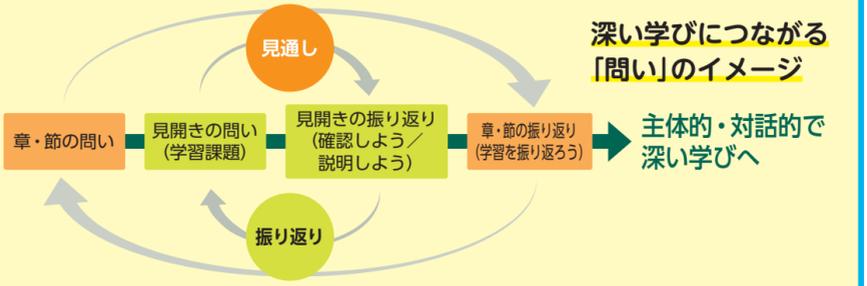
小学校・地理・歴史・他教科との関連 生産、販売(小)

小学校での学習や、他分野・他教科との関連のある題材を示し、物事を多面的・多角的に捉える足がかりとなるようにしています。また、分野間・教科間でのカリキュラム・マネジメントを実施する指標となるようにしています。

### ポイント

右のイメージのように、「章・節の問い」を受けた「学習課題」を各見開きに設置し、見通し・振り返り学習を積み重ねることで、「章・節の問い」にせまれるよう、「問い」を構造化しています。また、各問いの役割と関連を明確にしているため、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を着実に習得・育成でき、それぞれの観点別評価を適切に行えるようになっています。「章・節の問い」に取り組むことで、習得した **知能・技能** やそれを活用した **思考・判断・表現** を評価できるようにしています。また、単元を通した見通しと振り返りによって、自らの学びを調整し、粘り強く取り組む **主体的に学習に取り組む態度** を見取ることができるようにしています。

問いの種類	観点別評価への対応		
	知	思・判・表	主
章・節の問い	○	○	○
学習課題	○	○	
確認しよう	○		
説明しよう	○	○	



### 学習活動

#### 章・節の問い

単元のはじめには「章・節の問い」を設置しています。「単元を貫く問い」を明示することで、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。

#### 学習課題

各見開きに「節の問い」に対応した「学習課題」を設置しています。

#### 確認しよう/説明しよう

各見開きに「学習課題」に対応した「確認しよう/説明しよう」を設置しています。

#### 学習を振り返ろう

章末には「学習を振り返ろう」を設置しています。思考ツールを活用しながら対話を通して、「章・節の問い」に取り組むことで、「対話的な学び」や「深い学び」を実現できるようにしています。



↑p.132



↑p.134-135



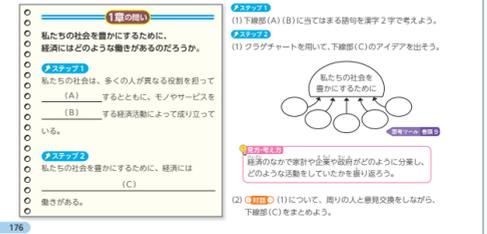
詳しくは本資料p.23~24



↑p.174



↑p.176



詳しくは本資料p.25~26

# 特色 3 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

## 「部扉」・「学習の前に」

### 導入資料

部扉にはその部の学習に関連した写真を掲載しています。「学習の前に」では、イラスト絵図を掲載して、学習内容を俯瞰できるようにしています。

### NEW

各部の冒頭に「部扉」を設置し、その部で学習する内容に関連した社会科3分野の写真と、小学校の既習事項を掲載しています。

### NEW

「学習の前に」の紙面に「章の問い」を掲載し、「見通し・振り返り学習」に活用できるようにしています。

1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

▶▶▶ p.176で



p.115

## 3部 経済

学習の前に 3部1章 (p.116～180) 暮らしのなかから経済を探してみよう

TRY1

下のイラストは、「はるの市」の「果物地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物したり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているかを考え、考えてみましょう。

① 次の質問は、イラストの「A」～「E」のどれに当たるか。( ) に記号を入れてみよう。

② 購入する商品の代金を支払っている → p.122 ( )

③ 店長から給与を受けとっている → p.130 ( )

④ スマートフォンの画面内音声を録音している → p.128 ( )

⑤ ATM(現金自動預け払い機)を利用している → p.150 ( )

⑥ インターネットの画面内音声を録音している → p.132 ( )

TRY2

イラストから、人と人との間で交わられている活動を探してみよう。(ヒント：モノとモノの交換だけは取りません)

観と観	交換しているもの
前田君と佐田君	お菓子の箱
佐田君と佐田君	お菓子の箱

⑦ TRY2の表を周りの人と持ち寄り、意見交換をしてみよう。



p.116-117

導入の「部扉」・「学習の前に」を活用し、見通しを立てて学習を進めていくことで、「主体的な学び」を実現できるようにしています。各見開きでも見通し・振り返り学習がしやすい紙面構成になっています。各見開きの学習内容は、「章・節の問い」を受ける形で「学習課題」を設置し、展開しています。

## 見開き 知・技 思・判・表

### 導入資料

見開きの学習内容の核心をつき、かつ、生徒に「なぜ」を抱かせる資料を掲載しています。

p.134-135



↑1 沖縄美ら海水族館に設置された幅22.5mのアクリルパネル(沖縄県本部町) この大型のアクリルパネルは、高い強度のアクリルを何層にも重ねることで、大きな水圧に耐えることができます。それにより、一本の柱も使わずに迫力ある展示が可能になっています。

○対話 N社のように高い技術をもつことは、企業にとってどのような利点があるのだろうか。

### 学習課題

見開きの学習でおさえるべき目標を示しています。本時の学習内容を見通す問いです。

## 2 企業の種類と株式会社

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

個人企業	個人商店、農家など
私企業	会社(株式会社、合同会社)など
公企業	地方公営企業 市営バス、上下水道など その他 国立印刷局、造幣局など

### 2節の問い

中小企業の定義は業種によって異なりますが、製造業では資本金が3億円以下、または従業員数が300人以下の企業を指します。

大企業	中小企業
会社数	0.8%
従業員総数	36.1
売上高*	62.4
	37.6

\*2015年 (2016年) (中小企業庁)

### 3節の問い

製造業における大企業と中小企業

## 章・節の問い

「章・節の問い」を、各ページのタイトル下にも掲載しています。「単元を貫く問い」である「章・節の問い」を常に意識して学習に取り組めるようにしています。

## 解説

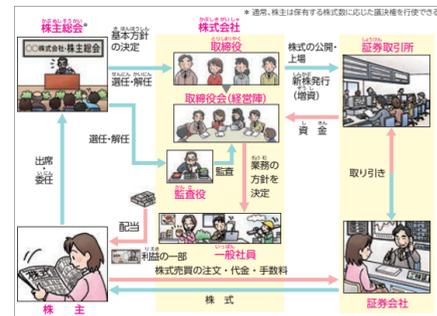
知識定着を図るための一助として、用語の「解説」を全38か所に設置しています。

## ポイント

### 「節の問い」と見開きの「問い」関係イメージ

各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」でつかんだ学習内容の積み重ねが「節の問い」の追究につながるようにしています。

→ 「節(章)の問い」と各見開きの「問い(学習課題・確認しよう・説明しよう)」の関係のイメージ



↑4 株式会社のしくみの例 一定の基準を満たす企業の株式は、証券取引所で売買できます。このことを上場といい、その株式を発行する企業を上場企業とよびます。

### 株式会社とは

事業で必要となる資金を小分けにした株式を発行して、多くの人から資金を集めて経営する会社を株式会社といいます。株式は出資した(資金を出した)ことの「証明書」であり、株式をもっている個人や法人を株主といいます。株主は、株主総会を通じて経営の基本方針に対して意見を述べるすることができます。また、保有する株式数に応じて、会社が得た利益の一部が配当として受けとれます。

株式による資金集めは、資金の出手(株主)にとっては、企業が倒産しても出資額以上の負担は負わない有限責任という利点があります。そして資金の受け手(企業)にとっても、株主総会の決議があれば利益のどれくらいを配当にあてるかを決められる利点があり、利益が出なければ配当をやめることもできます。

発行された株式は証券取引所で売買されます。株主は、将来の利益の見通しなどを反映して変動します。例えば、商品がたくさん売れて企業の利益が増えると見込まれると、その企業の株式を買いたいと思う人が増えて株価は上がります。逆に、業績の悪化や不祥事など、企業にとって悪い出来事が起こると、株価は下がります。そのため、企業としては資金を得るために、魅力ある経営を続けていく必要があるのです。

p.116-117(学習の前に)を振り返る 私企業(パン屋(E-3)など)、公企業(市営バス(A-1)など)

## 資料活用アイコン

「現代社会の見方・考え方」を動かせるのに適した写真・資料に付しています。p.10、205など全39か所に掲載しています。

パン屋さんをつくる

1 パン屋さんの出店地域は開業資金や利益を左右します。2 繁華街、学生街、郊外のなかから出店地域を選び、予想される客層を考えましょう。

	繁華街	学生街	郊外
店舗取得費	400万円	200万円	100万円
毎月の家賃	40万円	20万円	10万円
客単価	800円	600円	1000円
1日の客数	300人	200人	100人

↑5 パン屋さんの出店候補地

↑6 法律上、個人と同じ権利や義務をもつ認められた企業や団体を指します。

項目	説明
銘柄	会社の名称
期首	その日の最初(最後)に売買が成立した値段
高値(安値)	その日に売買が成立した最も高い(最も安い)値段(はじめ文字はその年の最高(最低)値)
前日比	前日と当日の終値の値段の比較(△は値上がり、▲は値下がり、○は変化なし)
売値	その日の売りが成立した株数

### ↑8 新聞の株式欄の例とその見方

企業はどのような分類で分けられているか、本文から書き出してみよう。

株式会社がどのような企業が、説明しよう そのしくみを説明してみよう。

## 2部 企業と生産

135

## 確認しよう

本文や図版から、学習上大切な事項を確認させる問いです。正しく文章を読む力(読解力)を養い、知識の確実な定着を促しています。

## 説明しよう

学習課題を振り返り、習得した知識を活用して言語活動につながる問いです。思考力、判断力、表現力の育成を促しています。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

まとめとして章末に「学習を振り返ろう」を設置しています。左ページでは学習した知識・技能を図や表を用いて確認できるようにしています。右ページでは、「学習の前に」を振り返ったり、思考ツールを用いた学習事項の整理と「対話」を通したりして「章の問い」に対する自らの考えをまとめることで、「深い学び」を実現できるようにしています。

「学習を振り返ろう」

知・技 思・判・表 主

p.174

p.176

**学習を振り返ろう** 3部1章(p.116~180) **経済活動と私たち**

**1章の問い** 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

**1節の問い** 私たちの社会を豊かにするために、家計にはどのような役割があるのだろうか。

**2節の問い** 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

**3節の問い** 私たちの社会を豊かにするために、金融にはどのような役割があるのだろうか。

① 図で知識を整理する

② 図で問いを整理する

③ 問いをまとめる

**章の振り返り** 各節の学習や「学習の前に」を振り返り、章の問いをまとめよう **思考・判断・表現**

① 「学習の前に」を振り返ろう。 p.116-117「学習の前に」を振り返る

② 節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。

**1章の問い**

私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。

**ステップ1**

私たちの社会は、多くの人が異なる役割を担っている。 (A) \_\_\_\_\_ するとともに、モノやサービスを (B) \_\_\_\_\_ する経済活動によって成り立っている。

**ステップ2**

私たちの社会を豊かにするために、経済には (C) \_\_\_\_\_ 働きがある。

**見方・考え方**

経済のなかで家計や企業や政府がどのように分業し、どのような活動をしてきたかを振り返ろう。

## 章の振り返り① 「学習の前に」を振り返る

- 「学習の前に」を振り返って、単元の導入時に見た内容が、学習を経て、学習内容のどの場面であったかを気づかせることで、「見通し・振り返り学習」がしっかり行えます。
- ①の終わりでは、意見交換を行って、対話的な学びを行い、考えを深めます。

## 章の振り返り② 章の問いの答えを導き出す

- ①のまとめや節の問いのまとめをもとに、章の問いの答えを導き出します。ステップ1で当てはまる語句を考えます。
- ステップ2で、章の問いの答えを導き出すために、クラゲチャートなどの思考ツールを用いて考えをまとめます。
- 「見方・考え方」をヒントに、意見交換を行って「章の問い」の答えを導き出します。

「主体的・対話的で深い学び」へ

## 節の振り返り

NEW

図や表を用いて学習事項の整理と確認を行い、問いの答えをまとめます。

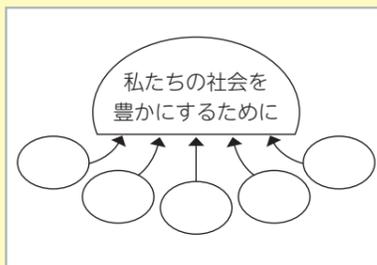
## ポイント

### 思考ツールアイコン

思考ツール 巻頭9

NEW

視覚的に分析したり考えを整理する際に用いる図や表を、思考ツールといいます。思考ツールを活用する場面には「思考ツールアイコン」を付し、活用を促しています。また、巻頭9とQRコンテンツでは、教科書で取り上げている思考ツールの紹介と、活用の手順を動画で説明しています。



## 思考ツールアイコン 掲載ページ一覧(全12か所)

ページ	掲載部分タイトル	思考ツールの種類
p.81	アクティブ公民「政党の主張を座標軸でまとめよう」	座標軸
p.5	アクティブ公民「現代社会の特色を考えよう」	ウェビング
p.109	アクティブ公民「自分のまちの課題を解決する予算案を提出しよう」	ランキング
p.25	第1部第1章「学習を振り返ろう」	Yチャート クラゲチャート
p.43	アクティブ公民「民主主義のあり方考えよう」	クラゲチャート
p.71	第2部第1章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート
p.79	アクティブ公民「メディアの特徴をベン図でまとめよう」	ベン図

ページ	掲載部分タイトル	思考ツールの種類
p.81	アクティブ公民「政党の主張を座標軸でまとめよう」	座標軸
p.109	アクティブ公民「自分のまちの課題を解決する予算案を提出しよう」	ランキング
p.111	第2部第2章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート
p.165	アクティブ公民「給付(受益)と負担について考えよう」	座標軸
p.167	アクティブ公民「赤字バス路線に税金を使うべきか?」(技能をみがく⑥)	ツールミンモデル
p.176	第3部第1章「学習を振り返ろう」	クラゲチャート

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

見通し・振り返りがしやすい構成で「指導と評価の一体化」を支援

NEW

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、第5部「課題探究学習」につながる「探究学習への準備」を各章末に新設しています(全5か所)。SDGsの観点と、自分の住む地域の視点で「章の学習」を振り返ることで、「持続可能な社会の実現」に向け、学習内容を「自分ごと」として捉えて社会に参画する意識を育むことができますようにしています。

## 「学習を振り返ろう」 主

p.177



### 探究学習への準備 課題探究学習(5部、p.216)に向けて、探究テーマを考えよう 主体的な学び

1 章の学習を振り返って、気になった学習内容や事例を挙げよう。

#### 観点1 SDGsの17の目標から振り返ろう

(1) SDGsの17の目標から、章で学習した内容と特に関連が深いと考える目標を挙げて、下の表で整理しよう。



SDGsの目標	関連が深い学習内容や事例
例) 12 つくる責任 つかう責任	・自立した消費者の育成 ・社会的責任を果たす企業経営 ・循環経済の実現

#### 観点2 自分の住む地域の視点で振り返ろう

(2) 地方公共団体の広報誌やウェブサイトから、章で学習した内容と特に関連が深い事例を挙げて、下の表で整理しよう。



地域の問題	関連が深い学習内容や事例
例)人口が減少し、税収が減っている。 例)企業の経営者が高齢化し、廃業する企業が増えている。	・財政再建と持続的な財政制度の構築 ・地域経済の活性化

2 対話 アイコン ①で整理したことを周りの人と持ち寄って、探究したいテーマを表にまとめよう。

増加する医療費にどう対応するかについて、探究したい。	地球環境と経済の豊かさの両立について探究したい。
意欲をもって働き続けるための取り組みについて、調べたい。	収入が少なく生活に困っている人に何ができるか考えたい。

この章のなかから選んだテーマ	探究するためにさらに調べたいこと
例)増加する医療費	・近年の医療制度の改革 ・海外の医療制度

探究するテーマについて、先生や家族などの周りの大人にもアドバイスをもらってみよう。

- 希少性 (p.119)
  - 家計 (p.122)
  - 流通 (p.124)
  - 企業 (p.132)
  - 株式会社 (p.135)
  - 独占・寡占 (p.137)
  - 社会的責任 (p.142)
  - 市場経済 (p.146)
  - 貨幣 (p.148)
  - 直接金融 (p.150)
  - 中央銀行 (p.152)
  - 財政 (p.156)
  - 歳出・歳入 (p.158)
  - 社会資本 (p.160)
  - 社会保障 (p.162)
  - 景気変動 (p.168)
  - 円高・円安 (p.170)
- ▶▶ QR一問一答で確認しよう

- 振り返り
- 節の問い：学習を通して考えをまとめることが
  - よくできた □ できた □ あまりできなかった
- 章の問い：学習を通して考えをまとめることが
  - よくできた □ できた □ あまりできなかった
- 章の学習を通して特に重要だと思ったこと
- 課題探究学習のテーマ案

### 探究学習への準備① 章の学習を振り返る NEW

①では「章の学習」を、「SDGsの視点」と「自分の住む地域の視点」の2つの観点で振り返って、整理します。

### 探究学習への準備② テーマを表にまとめる NEW

- ①で整理したことをまわりの人と持ち寄ります。
- まわりの人と話し合い(対話)、探究したいテーマを決めていきます。
- 決めたテーマと、そのテーマをさらに探究するために調べたいことを表にまとめます。

「主体的・対話的で深い学び」へ

### 第5部 「課題探究学習」へ NEW

この章でまとめた内容や、他の章でまとめた内容から、「課題探究」のテーマを決めて、「課題探究学習」を進めます。(本資料p.44参照)

より深い「主体的・対話的で深い学び」へ 本資料p.44

### 探究学習への準備 掲載ページ一覧(全5か所)

該当の「学習を振り返ろう」	掲載ページ
第1部第1章	p.26
第2部第1章	p.72
第2部第2章	p.112
第3部第1章	p.177
第4部第1章	p.212

### ポイント

#### 対話アイコン NEW

他者とのやり取りを通じて思考を広げる問いや学習課題に付しています。対話型の学習活動を通して、自らの考えをより深めるとともに、他者の意見を尊重する態度を身に付けることができます。すべての見開きの導入部分ほか「学習の前に」「アクティブ公民」に設置しています。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 対話を通して学びを深める「アクティブ公民」

「アクティブ公民」では、具体的なテーマを設定した活動型の学習を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できます。パフォーマンス課題として、「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の見取りに最適です。

### 特設ページ型

#### 「見方・考え方」の活用

課題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示しています。

#### 学習課題

現実の社会で起こりうる事例を提示することで、課題を追究する学習へと導きます。

#### 状況の確認

生徒が自分なりの考えを構築していくにあたり、さまざまな観点の資料を提示し、根拠をもって考えられるようにしています。

↓p.166-167

**アクティブ公民 AL** 赤バス路線に税金を使うべきか？

対立と合意、効率と公正、希少性

4節では、財政の役割や、税金には限りがあることを学習しました。日本には、過剰化により、存続が危ぶまれる鉄道やバスの路線が多くあります。赤バス路線をめぐって対立を例に、税金の使いみちをどう選択すべきか、考えてみましょう。

**1 赤バス路線の廃止計画を確認しよう**

**市の状況** あなたは人口約8万人を抱えるふゆき市の市長です。山間部に位置するC地区は、高齢化・過疎化が進んでいます。C地区と市の中心部であるA地区を結ぶ赤バスは、利用客が減少し、赤字が続いています。バス会社はほかの路線から利益を確保して赤字を補ってききましたが、赤字額が大きいため、C地区の住民に路線の廃止を提案しました。これに対し、C地区の住民は、高齢者が多く、通院や買い物に路線バスが不可欠だと反対しており、市の税金を使ってもバス路線を維持してほしいと訴えています。

**2 赤バス路線をめぐる住民の主張を整理しよう**

赤バス路線を維持すべきかどうかについては、A・B地区の住民とC地区の住民の間で意見の対立が見られます。A・B地区の住民も税金を納めているため、この問題の当事者です。

**3 対立から合意に向けた解決策を提案しよう**

企業が存続していくためには、採算のとれない事業から撤退し、その分採算のとれる事業に資源を配分する必要があります。その意味で、赤バス路線を廃止するという判断は、効率の見方・考え方になっていきます。一方で、公共交通手段の確保のために税金を使うことは、人々がどこに住んでいても、生活上必要な公共サービスを受けることができるという意味で、公正の見方・考え方になっています。

**TRY1** A～Cの各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

**TRY2** 赤バス路線は税金を使うべきに当たるとどう思うか。市長としての立場から、その理由を述べてみよう。また、それを踏まえて解決策を提案しよう。

**関連** ① 社会資本→p.158 ② 社会資本→p.160

課題を追究するうえで参考になる技能を紹介しています。

**主張の整理**  
解決策を考えるためには異なる主張を踏まえなければならないことに気づかせ、多面的・多角的な考察を促します。

**対立から合意へ**  
全てを満たす解決策がない中で、自分なりの解決策を理由とともに考えることで、思考力・判断力を養い、深い学びにつながります。

### 特設ページ型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全10か所)

テーマ	ページ
マンションの騒音問題を解決しよう	p.22-23
民主主義のあり方を考えよう	p.42-43
青果店の立ちのきについて考えよう	p.64-65
裁判員として裁判の判決を考えよう	p.98-99
自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう	p.108-109
もしも無人島に漂着したら？	p.120-121
一人暮らしにはお金がいくらかかる？	p.130-131
パン屋さんを起業してみよう	p.144-145
赤バス路線に税金を使うべきか？	p.166-167
2040年の日本の電源構成案を提案しよう	p.208-209

※アミ掛けのテーマは、次ページでも解説

### コラム型

**アクティブ公民** 多数決を利用した決め方を考えよう

文化祭に向けて、クラスの出し物を何にするか、クラス全員で話し合ったところ、お化け屋敷、カフェ、演劇の3案に絞られました。そこで、多数決を行ったところ、結果は右のようになりました。

**生徒Aの意見** もう話し合いは尽くしたので、1回の多数決の結果を決めたい。

**生徒Bの意見** お化け屋敷が最多だったが、過半数ではないから、お化け屋敷とカフェをもう一回決選投票をしよう。

**生徒Cの意見** 多くの意見を反映できるような、第二候補の意見も聞いて、第一候補と第二候補の合計で決めたい。

① 出し物の候補3案について、第一候補と第二候補でない生徒の人数を右の表にまとめてみよう。

② 生徒A～Cの意見を参考に、どのような決め方がよいか、効率や民主主義の考え方を踏まえながら考えてみよう。

③ ②について、周りの人と意見交換をしよう。

**ポイント**  
本文ページの「コラム」として、短時間で取り組めるパフォーマンス課題として設置しています。

**アクティブ公民** 政治参加の方法を考えよう

世論に関心をもつ、投票する、行政に意見を伝える、議論に参加する、議会を傍聴する、議員に立候補する

① ②を参考に中学生でもできる政治参加の方法を考えてみよう。

② ①について、周りの人と意見交換をしよう。

国民による政治参加の例

### コラム型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全33か所)

テーマ	ページ
現代社会の特色を考えよう	p.5
効率と公正から考えよう	p.19
決定を行う方法を考えよう	p.21
多数決を利用した決め方を考えよう	p.33
政治参加の方法を考えよう	p.39
「健康で文化的な最低限度の生活」を営むうえで必要なものを考えよう	p.55
公共の福祉のために制限される権利を考えよう	p.63
生徒会から民主主義を考えよう	p.77
メディアの特徴をベン図でまとめよう	p.79
政党の主張を座標軸でまとめよう	p.81
国会議員と公務員を比べよう	p.92
「アリとキリギリス」から「選択」を考える	p.119
家計簿の支出項目を考えよう	p.123
救急サービスの有料化について考えよう	p.157
累進課税について考えよう	p.159
給付(受益)と負担について考えよう	p.165

左の一覧表にないコラム型「アクティブ公民」は、シミュレーションを構成するものとして本資料p.31-32で解説。

# 「主体的・対話的で深い学び」につながる単元構成

## 対話を通して学びを深める「アクティブ公民」

まちづくり・企業・国際協力など、社会参画を疑似体験できる学習が行えるように、本文ページと連動させたシミュレーション型の「アクティブ公民」を設置しています。QRコンテンツ(本資料p.40)を使えば、限られた授業時間でも、無理なく取り組みます。

### シミュレーション型

### ポイント

学習の流れ(→)に沿って、各見開きにある「アクティブ公民」に取り組んでいくことで、最終課題のp.144-145「パン屋さんを起業してみよう」につながります。企業単元が、実感をもって学習できます。

#### 1 私たちの生活と企業

パン屋さんをつくる ①お店の計画を立てよう

あなたが将来興味のある分野で起業したいと思ったとき、何から始めればよいのでしょうか。パン屋さんの起業を題材にして、一つひとつ考えていきましょう。QRコードのワークを活用すると、パン屋さんの企画書が完成します。

Q あなたならどのようなパン屋さんを起業したいですか。誰に向けてどのようなパンを生産し、それを通じてどのように社会と関わっていきたくかなど、今の時点の考えをまとめてみましょう。

p.135 ②出店地域を選ぼう  
売上げや開業資金のことを考えながら、出店地域を選びましょう。

p.137 ③ライバル店に対抗しよう  
ライバル店との競争に勝つために、セールスポイントを考えましょう。

p.139 ④従業員を募集しよう  
従業員募集の求人広告を試作しました。内容に問題がないか、確認しましょう。

p.141 ⑤職場の標語をつくろう  
店が繁盛し、従業員にとって働きやすい職場となるような、職場の標語を考えましょう。

p.143 ⑥社会的責任を果たそう  
地域や社会と共に生きていくよう、社会的責任を果たす活動を考えましょう。

p.144~145 パン屋さんを起業してみよう  
グループ内で発表して、出資を募りましょう。開業資金が集まれば開店です。

#### 2 企業の種類と株式会社

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ②出店地域を選ぼう

Q パン屋さんの出店地域は開業資金や利益を左右します。③の繁華街、学生街、郊外のなかから出店地域を選び、予想される客層を考えましょう。

	繁華街	学生街	郊外
店舗取得費	400万円	200万円	100万円
毎月の家賃	40万円	20万円	10万円
客単価	800円	600円	1000円
1日の客数	300人	200人	100人

↑p.135

※「企業の立地」は、企業の種類に大きな影響を及ぼすため、ここで考えるようにしています。

#### 3 企業の競争と独占

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ③ライバル店に対抗しよう

Q あなたのパン屋さんの周辺には低価格で売りのライバル店があります。④を参考に、ライバル店に負けないセールスポイントを考えましょう。

味	焼きたて	品数・種類が豊富	品質がよい
72.8	42.0	34.0	30.2
25.9	24.6		

↑p.137

#### 4 働くことの意義と労働者の権利

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ④従業員を募集しよう

Q あなたはパン屋さんの従業員募集のために求人広告をつくっているところです。⑤の問題点を考えましょう。

オープニングスタッフ募集!

【仕事内容】 パンの製造・販売  
【資格】 未経験者・外国人歓迎!  
製造担当は男性限定  
【社員】 月給22万円～ 時間8時～20時  
【アルバイト】 時給600円～ 時間1日4時間～  
※ただし試用期間中は無給  
TEL: 〇〇〇-△△△-□□□□

↑p.139

↑p.132-133

↑p.135

↑p.137

↑p.139

#### 5 労働環境の変化と私たち

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

#### 6 企業の社会的責任

2節の問い 私たちの社会を豊かにするために、企業にはどのような役割があるのだろうか。

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ⑤職場の標語をつくろう

Q あなたは社長として、パン屋さんの繁盛と、従業員の生活を守ることを目指しています。⑥を参考に、職場の標語を三つ考えましょう。

〈標語の例〉

- 自分で考えて行動しよう
- お客さんには誠実に接しよう
- 家庭生活を大切にしよう

効率	品質	スピード	売上げ
公正	誠実	責任	感謝
自立	行動	挑戦	成長
多様性	生活	健康	家庭

↑p.141

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ⑥社会的責任を果たそう

Q あなたはパン屋さんの経営を通じて、社会的責任を果たそうと考えました。⑥を参考に、取り組みたい活動の一つを考えましょう。

仕入れ	仕入れ先はどこにするか。 原材料の生産過程に問題はないか。
電力消費	電力消費量を減らせないか。 調理くずを生かさないか。
廃棄物	廃棄物はどのようにするか。 売れ残ったらどうするか。
その他	地域にできる貢献はないか。

↑p.143

各見開きの「アクティブ公民」屋さんの起業企画書を作成でき、パン屋さんをつくる」でも同様の学習で学習したことをまとめて、パン屋さんの起業企画書を作成できます。QRコンテンツ「パン屋さんをつくる」でも同様の学習ができます(本資料p.40参照)。

アクティブ公民

パン屋さんをつくる ②利益について考えよう

2節では、企業の役割について学習しながら、パン屋さんの創業に向けた計画を立ててきました。実際の創業をするためには、開業資金をどうするか、日々の利益計算も必要です。

2節では、パン屋さんの出店地域(②)のセールスポイントについて考えました。③を参考に、ライバル店との競争に勝つために、セールスポイントを考えましょう。

1 開業資金について考えよう

TRY1

店舗	店舗	店舗	店舗
100万円	200万円	300万円	400万円

2 月間利益

TRY2

1 月間売上げ(万円) = 客単価(円) × 1日あたりの客数 × 30日

2 月間費用(万円) = 店舗取得費(円) + 毎月の家賃(円) × 30日 + 毎月の客単価(円) × 1日あたりの客数 × 30日

3 月間利益(万円) = 月間売上げ(万円) - 月間費用(万円)

3 開業資金を集めよう

TRY3

グループを組んで、メンバーからパン屋さんの開業資金を募ります。メンバーは各自の役割を持って、開業資金をグループで集めることができます。

1 開業資金を集めるための役割分担を話し合います。

2 開業資金を集めるための役割分担を話し合います。

3 開業資金を集めるための役割分担を話し合います。

↑p.144-145

### シミュレーション型「アクティブ公民」 テーマ一覧(全19か所)\*

シミュレーション名	テーマ	ページ
自分のまちの課題を解決する 予算案を提案しよう	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう①	p.101
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう②	p.103
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう③	p.105
	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう	p.108-109
パン屋さんをつくる パン屋さんを起業してみよう	パン屋さんをつくる①	p.133
	パン屋さんをつくる②	p.135
	パン屋さんをつくる③	p.137
	パン屋さんをつくる④	p.139
	パン屋さんをつくる⑤	p.141
	パン屋さんをつくる⑥	p.143
持続可能な社会のための 支援策を提案しよう	パン屋さんを起業してみよう	p.144-145
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう①	p.193
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう②	p.195
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう③	p.197
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう④	p.199
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑤	p.201
	持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑥	p.203
持続可能な社会のための支援策を提案しよう⑦	p.205	
持続可能な社会のための支援策を提案しようーまとめー	p.207	

\*点数は特設ページ型・コラム型と重複

# 「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育む工夫

SDGsへの意識を高める「未来に向けて」

巻頭1-2で、SDGsの17の目標とその実現に向けた世界と日本の取り組みを紹介しています。帝国書院の地理的分野・歴史的分野の教科書でも同様のページを設置し、中学校社会科の学習全体を通して「持続可能な社会の実現」を意識づけることができます。

↓巻頭1-2

## 未来に向けて よりよい社会を目指して



**↑1** 阪神甲子園球場の屋根に設置された太陽光パネル(兵庫県西宮市) この太陽光パネルが1年間で発電している電力量は、ここを本拠地とする球団Hが1年間にこの球場の夜間試合で使用する照明の電力量に相当します(→p.198)。



**↓2** 人工巣塔で飛ぶ練習をするコウノトリのひな(兵庫県豊岡市) 豊岡市では、日本国内で一度は絶滅したコウノトリを人工繁殖し、野生へ帰す取り組みを進めています(→p.196)。



### この教科書に登場する生徒



ゆい けんた

### これからの社会に向けて

私たちが暮らす日本も含めた世界の国々は、持続可能な社会を実現するために、SDGs (Sustainable Development Goals) とよばれる「持続可能な開発目標」に取り組んでいます。SDGsは、下のように17の目標からなり、世界のさまざまな問題の解決に向けて2030年までに達成すべき目標として、2015年に国際連合で採択されました。持続可能な社会の実現を目指す取り組みの例を、見てみましょう。

国々は、持続可能な社会を実現するために、SDGs (Sustainable Development Goals) とよばれる「持続可能な開発目標」に取り組んでいます。SDGsは、下のように17の目標からなり、世界のさまざまな問題の解決に向けて2030年までに達成すべき目標として、2015年に国際連合で採択されました。持続可能な社会の実現を目指す取り組みの例を、見てみましょう。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>2</b> 飢餓をゼロに	<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに	<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に
<b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう	<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを	<b>12</b> つくる責任つかう責任
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう	<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう	



**←4** 火災対策の放水訓練をする合掌造り集落(富山県南砺市) 世界文化遺産「五箇山の合掌造り集落」がある南砺市は、地域内のエネルギーの自給や農林業の再生、次世代の人材育成など持続可能な地域づくりを目指した取り組みを進めています(→p.105)。



## 原寸大

### ポイント

QRコンテンツで、このページと関連する他分野のページを見ることができます。

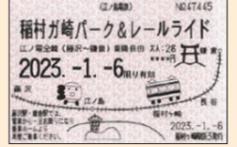


他分野リンク



かえで しゅん

**→5** 廃材でつくったアート作品(神奈川県川崎市) 障がいのあるアーティストが中心となって制作した色鮮やかな反物が、川崎駅に展示されました。この反物は市内の企業から集めたのぼり旗などの廃材から制作され、展示後はかばんや小物などに作り替えて、販売されました(→p.139、161)。



**←6** 電車を利用する観光客(左、神奈川県鎌倉市)とパーク&ライドの切符(上) 観光地が集中する鎌倉市では、交通渋滞を減らすために公共交通機関と協力して、車から電車やバスに乗り換えて観光してもらう取り組み(パーク&ライド)を推進しています(→p.200)。



**↓7** 避難民の生活支援をする日本のNPO(ウクライナ) このNPOは、ロシアの軍事侵襲から逃れるために故郷を離れて生活するウクライナの人々の生活支援をしています(→p.193)。



# 「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育む工夫

## SDGsへの意識を高める「未来に向けて」

→p.178

### ポイント

6つのテーマにあわせて、関連するSDGsの目標も明示しています。

### ポイント

「2030年のSDGs達成とその先を目指して」というコーナーを設け、SDGs達成への意識を育むだけでなく、その後の社会への意識づけを行っています。

## 未来に向けて 環境保全への取り組み

### 1 ごみの焼却炉から金・銀を回収(神奈川県相模原市)

神奈川県相模原市は、2021年度の1年間に一般ごみとして捨てられた電子機器などから、金・銀それぞれ約15kgを回収することに成功しました。市内の南清掃工場の焼却炉では、高温に熱された砂を用いて、ごみを蒸し焼きにしています。ごみの多くはガスとなって焼失しますが、電子機器の基板などに含まれる貴金属は燃え残り、焼却炉の底にたまっていきます。相模原市は3年前から焼却炉メーカーと共同で、この焼却炉の砂の中から金・銀を回収する技術を研究してきました。その結果、21年度に回収した金・銀は約1億3000万円分となり、回収費用の約1億円を差し引いて、約3700万円の収益を上げました。収益は清掃工場の補修費や環境啓発活動などにあてられています。



↑1 焼却炉から回収された砂や金のレプリカ(2022年)

### 2 日本最大級の電力消費企業の脱炭素への挑戦(三重県四日市市)

三重県四日市市で創業したA社は、全国に約2万店舗を展開し、日本全体の電力の約1%を消費する日本最大級の電力消費企業です。A社は2018年に脱炭素に向けた計画を定め、店舗で排出する二酸化炭素などを50年までに総量でゼロにするという目標を掲げました。また、中間目標として30年までに店舗の使用電力の50%を再生可能エネルギー(→p.198)に切り替えるとしています。A社は二酸化炭素排出量の約9割が電力によるものなので、省エネルギー設備を導入して使う電力を減らしたり、太陽光パネルを設置して再生可能エネルギーへ転換したりすることで、目標の達成を目指しています。また、電力会社と連携して個人の家庭で発電された電気を買いとり、買い物に使えるポイントで還元するしくみも導入しています。20年には使用電力のすべてを再生可能エネルギーで賄う店舗も誕生しました。



↑2 壁面に太陽光パネルが設置されたA社のショッピングセンターの立体駐車場(神奈川県四日市市、2020年)

## NEXT2030へのヒント 2030年のSDGs達成とその先を目指して



私たちの生活は多くのモノやエネルギーを消費して成り立っています。モノやエネルギーを安定的に確保することは、豊かな社会を維持していくためには不可欠です。しかし、人々の経済活動の拡大によって、地球温暖化などの地球環境問題が広がってきており、大量消費を前提とした社会は持続可能とはいえなくなっています。これからは、地域社会や地球環境へ与える影響も考慮しながら、モノやエネルギーをどのように作り、使い、処分するかを考えていく必要があります。私たち消費者もひと事ではなく、ふだんの生活や消費活動を見直していくことが大切です。

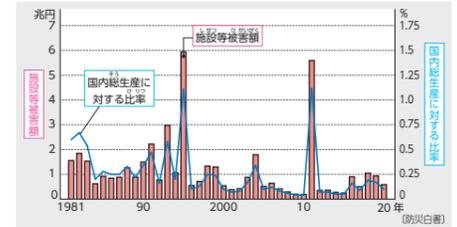
「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の6つのテーマにあわせた特設ページ「未来に向けて」を13か所、本文ページのコラム「未来に向けて」を13か所に設置しています。

←p.179

## 未来に向けて 自然災害から社会を守る 社会資本の整備

### 1 自然災害から社会を守るために

日本では近年、地震や大型台風、記録的な豪雨など大規模な自然災害が相次いでいます。大規模な自然災害が発生すれば、人的被害に加えて道路や建物、電気などのライフラインの被害も発生し、経済活動に影響が及びます。工場が倒壊したり、道路が寸断されて部品の調達が困難になったりすれば、生産活動の低下が全国へ広がり長期化することも考えられます。防災設備を整え、自然災害に強い社会をつくることは政府や地方公共団体の大切な役割です。



↑1 災害による施設などの被害額の推移

### 2 過去に学び未来へ生かす水害対策(岡山県岡山市)



↑2 豪雨で川が決壊して冠水した道路(2018年)

岡山県岡山市では、2018年に48時間の雨量が306mmを記録する豪雨が発生しました。岡山市の位置する岡山平野は標高が低く、海や河川の水位よりも低いところにも市街地が広がっています。そのため、堤防の決壊などによって浸水した場合には、排水が難しく復旧にも時間がかかります。18年の豪雨でも、床上浸水と床下浸水を合わせて7000棟を超える家屋の被害が発生し、水害被害額は約719億円に上りました。一方で、以前の台風



↑3 雨水をためて水害を防ぐ地下水路の建設(2020年)

において浸水被害の多かった地域では、地上に降った雨をくみ上げて河川へと送るポンプ場の整備など、事前に水害対策を行っていたため、大幅に被害を減らすことに成功しています。この経験を生かし、岡山市は下水道施設などの一層の強化を進めています。今後も、全国的に記録的な豪雨が発生し、水害が頻発することが考えられます。そのため、豪雨や水害への備えはますます重要となっています。

### ポイント

岡山市での防災への取り組みを紹介し、社会資本の整備について考えられるようにしています。

## NEXT2030へのヒント 2030年のSDGs達成とその先を目指して



ひとたび大規模な自然災害によって人々の生活基盤が破壊されれば、水・食料や健康の問題、経済への影響など、多くの問題が生じます。そのため、自然災害への対策はすべてのSDGsの目標に関わるテーマだといえます。自然災害をなくすことはできませんが、その被害を抑えるのに必要な社会資本や体制を整えておくことはできます。また、これまで多くの自然災害に見舞われてきた日本の政府や企業、地域社会には、自然災害に対応するための知識や経験が蓄積されています。それらを世界に広めていくことも、SDGsの達成に向けて日本が貢献できることの一つです。

本資料p.44

## 特設ページ「未来に向けて」掲載ページ一覧(全13か所)

ページ	タイトル	SDGsの目標
巻頭1-2	よりよい社会を目指して	全
p.27	情報通信技術を活用したまちづくり	11
p.28	伝統を受け継ぎアップデートしていく	—
p.52	偏見や差別をなくすために	10
p.73	多様性を認め合う社会へ	5・10
p.113	地域の活性化と持続可能なまちづくり	9・11
p.114	若者の政治参加を促そう	16・17

ページ	タイトル	SDGsの目標
p.178	環境保全への取り組み	12・13
p.179	自然災害から社会を守る社会資本の整備	9・11
p.180	暮らしの安全を守る日本の技術	8・9
p.213	脱炭素社会の実現に向けて地方公共団体の挑戦	7・13
p.214	持続可能な社会に向けて大阪・関西万博	9・17
巻末2-3	防災・減災を通じた社会参画	11・17

## コラム「未来に向けて」掲載ページ一覧(全13か所)

ページ	タイトル
p.7	情報化と防災・減災
p.9	多文化共生の取り組み
p.11	子どもと高齢者がともに過ごす
p.15	伝統文化を受け継ぐ
p.51	アイヌ語への思い
p.137	ビッグデータを生かした経営戦略
p.139	障がいがあっても働ける場を
p.151	フィンテックで便利になる生活
p.161	エネルギーの消費量がゼロの建物とは？
p.191	パレスチナ問題の解決に向けた努力を
p.197	プラスチックごみと海洋汚染
p.199	水素エネルギーの可能性
p.201	エシカル消費に取り組もう

未来に向けて 障がいがあっても働ける場を(神奈川県川崎市)

←N社の職場 知的障がいのある社員が、生産ラインの大部分を担っています。

学校で使うチョコなどを製造・販売するN社は、従業員の約7割が知的障がいのある人です。N社ではそれぞれの理解力に合わせて、作業工程を工夫しています。例えば、チョコを入れるだけで品質検査できる器具を用いるなどして、社員の能力を引き出す環境づくりに努めています。

### ポイント

コラム型の「未来に向けて」は、本文の学習内容を、6つのテーマからさらに深められるようにしています。

↑p.139

# 「個別最適な学び」を支援するコンテンツ

一人一台端末で活用できるQRコンテンツ

QRコンテンツを728用意し、「個別最適な学び」を支援しています。

教科書のもくじや中面の随所、裏表紙に掲載している

QRコードからアクセスできます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。 ※通信料は別途かかります。  
※コンテンツの数および内容は、変更になる可能性があります。

こちらからお試  
いただけます。



<https://tks46.jp/07jhs/civ>

## 社会科 中学生の公民

学習の前に	学習を振り返ろう	アクティブ公民
図解アニメーション	用語解説	NHK for School
他分野教科書リンク	統計資料	思考ツール・白地図
巻末法令集	パン屋さんをつくろう	教科書を活用した学び方
リンク集	利用規約	単元別メニュー

帝国書院

↑メニュー画面

学習内容を定着させるコンテンツ（**定着**）や、学習内容を深化させるコンテンツ（**深化**）を収録しています。  
「単元別メニュー」は各コンテンツを単元ごとに分類し、学習する単元で活用できるコンテンツがすぐに見つかるようにしています。

### QRコンテンツ一覧

コンテンツ	教科書掲載ページ	収録数	
1 学習の前に	p.2, 30, 74, 116, 182	15	改訂
2 学習を振り返ろう	p.24, 70, 110, 174, 210	6種×5テーマ	NEW
3 アクティブ公民	p.22, 42, 64, 98, 108, 120, 130, 144, 166, 192, 208	32	NEW
4 図解アニメーション	p.67, 91, 147(3ヶ所), 188	6	NEW
5 用語解説	p.245	104	NEW
6 NHK for School	p.4, 12, 16, 32, 44, 66, 76, 86, 100, 118, 132, 146, 156, 168, 184, 192, 216	67	増補
7 他分野教科書リンク	巻頭2, p.50, 73, 178, 179, 186, 213, 214, 巻末3	35	NEW
8 統計資料	巻頭6	日本87, 世界74	NEW
9 思考ツール・白地図	巻頭9	思考ツール21・白地図93	NEW
10 巻末法令集	p.225	38	改訂
11 パン屋さんをつくろう	p.133, 135, 137, 139, 141, 143, 144	1	NEW
12 教科書を活用した学び方	巻頭5	2	NEW
13 リンク集	p.4, 32, 76, 118, 184	123	NEW
単元別メニュー	p.4, 12, 16, 32, 44, 66, 76, 86, 100, 118, 132, 146, 156, 168, 184, 192, 216	—	NEW
		全728	



### 学習の前に(学習の見通し) **定着** NEW

学習の導入ページ「学習の前に」のイラストと、「TRY」に対応したワークシートを収録しています。  
学習の見通しを立てることができます。

全15点

→第1部「学習の前に」

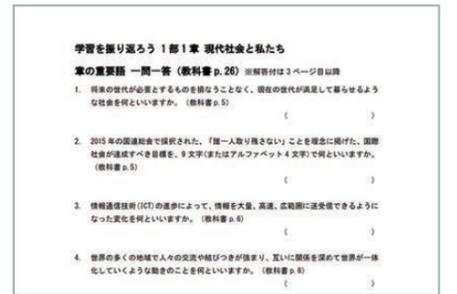


### 学習を振り返ろう **定着** NEW

章・節末にある「学習を振り返ろう」ページに対応したワークシート(Wordデータ・PDFデータ)と、「節の振り返り」の解答(PDFデータ)を収録しています。  
単元の振り返りを端末上でできるようにしています。

全30点

→第1部第1章のワークシート



### アクティブ公民 **定着** NEW

「アクティブ公民」ページに対応したワークシート(Wordデータ・PDFデータ)と、考察する際に参考となるサイトへのリンク集、他分野教科書のページを閲覧できます。端末を活用しながら「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしています。

全32点

→「マンションの騒音問題を解決しよう」ワークシート

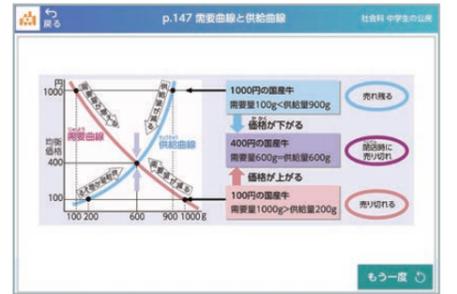


### 図解アニメーション **定着** NEW

公民で習得したい技能について動画で解説しています。  
文章だけではわかりにくい学習事項を動画で解説することで理解しやすくしています。

全6点

→需要曲線と供給曲線



# 「個別最適な学び」を支援するコンテンツ

一人一台端末で活用できるQRコンテンツ



## 用語解説 深化 NEW

教科書に掲載している用語の定義や意味を収録しています。検索機能もあり、調べたい用語をすぐに確認できるようにしています。

全104語句



## NHK for School 深化

NHK for Schoolへのリンクを単元ごとに収録しています。具体的な映像で知識定着が図れるようにしています。

全67点



## 他分野教科書リンク 深化 NEW

学習に関連する帝国書院の地理的分野・歴史的分野の教科書および、地図帳の紙面を収録しています。多面的・多角的に考察できるようにしています。

全35点

→SDGsに関連した歴史的分野教科書の紙面



## 統計資料 深化 NEW

世界・日本のおもな統計を収録しています。統計データをもとに統計地図を作成したり、円グラフを作成したりできるようにしています。統計データは毎年更新しています。出典が明らかな安心・安全のデータを利用できます。

全161点 (日本87点・世界74点)

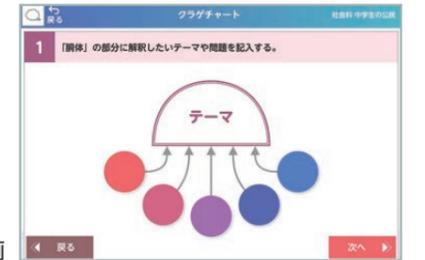


## 思考ツール・白地図 深化 NEW

思考ツールの動画解説(本資料p.25-26)とデータ(PDFデータ)および白地図データへのリンクです。多様な手法で思考を深め、学習の振り返りができるようにしています。

思考ツール21点  
白地図93点

→クラゲチャートの活用手順解説動画



## 巻末法令集 深化 NEW

教科書巻末にある法令集のデータのほか、教科書で扱う法令のリンク集を掲載しています。法令の詳しい内容を見ることができます。

全38点

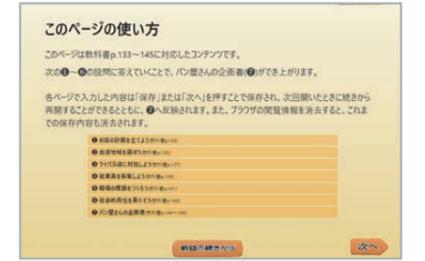
→日本国憲法 前文の掲載部分



## パン屋さんをつくろう NEW

「アクティブ公民」のうち、シミュレーション型の「パン屋さんをつくろう」では、各種条件を入力することで企画書ができあがるコンテンツを収録しています。

1点



## 教科書を活用した学び方 NEW

「単元を通した学び」と「毎時の学び」を動画で解説しています。学習の流れを把握できるようにしています。

全2点

→「単元を通した学び」の解説動画



## リンク集 NEW

学習に関連する外部サイトへのリンク集を収録しています。調べ学習などで活用できるよう、テーマごとにまとめています。

全123点

→SDGsに関連するウェブサイトへのリンク集



# 第1部 現代社会

第1部「現代社会」では、公民的分野の導入として、現代社会が抱える諸問題を解決して、人々がよりよい生活を送ることができる「持続可能な社会」をつくる視点が大切なことを解説しています。また、「持続可能な社会の実現」には一人ひとりの社会参画が求められることを解説しています。

第1章 現代社会と私たち	
学習の前に 「45年前と今の社会を比べてみよう」	「持続可能な社会の実現」と社会参画の重要性を説明し、以後の学習を通して重要な視点となることを解説しています。その上で、情報化、グローバル化、少子高齢化といった現代社会の特色を端的にまとめています。
第1節 現代社会の特色	「異文化理解」の重要性に加え、日本国内の地域による文化の多様性と、伝統文化の継承の大切さを強調しています。
第2節 私たちの生活と文化	
第3節 現代社会を捉える枠組み	「現代社会の見方・考え方」としての「対立と合意」「効率と公正」の概念を、「防災備蓄倉庫の新設」という具体事例を通して、考えられる構成にしています。
アクティブ公民 「マンションの騒音問題を解決しよう」	
学習を振り返ろう	第3節で学んだ「対立と合意」「効率と公正」の見方・考え方をを用いて、ロールプレイングで合意形成を目指す課題を設置しています。

現代社会を捉える枠組み「対立と合意」「効率と公正」を、かみ砕いた本文記述で解説しています。

**対立から合意へ** 社会的存在としての私たちは、直接的あるいは間接的に、職業や生活スタイル、年齢などが異なる多様な人々と関わり合いながら、共に暮らしています。人はそれぞれの考え方や利害をもっているため、意見の違いから人々の間に問題や争いといった**対立**が起きてしまうことがあります。

しかし、問題を残して対立したままでは、私たちの社会はうまくいかなくなってしまいます。左ページの地域の人々も、よりよい生活を送れるようにするためには、互いの主張の趣旨をよく理解したうえで折り合いをつけなければなりません。私たちは、話し合いや交渉などを通じて決定を行い、**合意**をつくり出すことで問題を解決し、社会を動かしていくことが必要です。

↑p.17

**効率とは** 合意とは、人間社会で起こる対立を解消し、人々が共に生きることができるようになる社会をつくるための取り決めです。よりよい合意をつくるためには、**効率**や**公正**といった見方・考え方を踏まえる必要があります。

↑p.18

**公正とは** よりよい合意をつくるためには、公正の考え方も欠かせません。公正とは、互いの意見を尊重し、合意によって得られる結論が一人ひとりに最大限配慮したものになっているかどうかを大切に考える考え方です。みんなが決定に参加したかといった**手続きの公正さ**、ほかの人の権利や利益を不当に侵害していないか、立場が変わっても受け入れられるかといった**機会の公正さ**や**結果の公正さ**などに配慮することも大切です。

↑p.19

# 第2部 政治

第2部「政治」では、日本国憲法や基本的人権、国政や地方自治など生徒たちが縁遠く感じがちな政治の現状やしくみなどを、かみ砕いた本文でわかりやすく解説しています。これにより、生徒たちが自身と憲法や人権、国政や地方自治などとの接点を見つけ、社会参画の意識を高められるようにしています。

第1章 日本国憲法と私たち		第2節では、自由権・平等権・社会権のほか、「ヤングケアラー」・知的財産権やSNSを通じた人権侵害などの情報社会における人権も取り上げています。第3節では、憲法学習のまとめとして、「三権分立」を解説し、次章につながるようになっています。
学習の前に 「暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう」		
第1節 民主主義と日本国憲法		
アクティブ公民 「民主主義のあり方を考えよう」		
第2節 基本的人権の尊重		
アクティブ公民 「青果店の立ちのきについて考えよう」		
第3節 法の支配を支えるしくみ		「国政」→「地方自治」→「私たちの政治参加」という順序にしています。国政からはじめ、身近な地域の話に近づいていくことで、政治を身近に感じられる流れを作っています。生徒会から民主主義を考えるコラム(p.77)や、中学生が参加する「少年議会」(p.106)の導入事例で、政治を身近に感じながら、社会参画の大切さを実感できるようにしています。
学習を振り返ろう		
第2章 政治と私たち		
学習の前に 「みんなが暮らしやすい社会をつくろう」		
第1節 民主政治と私たち		
第2節 国の政治のしくみ		
アクティブ公民 「裁判員として裁判の判決を考えよう」		
第3節 地方自治と私たち		 <p>中学生による少年議会(山形県遊佐町) 山形県遊佐町では、若者の力によるまちづくりを目指し、2003年度から少年議会が開催されています。遊佐町在住・在学の中高校生から【少年町長】1名と【少年議員】10名が、町内の中高校生による投票で選ばれます。議員たちは定期的に議を開き、45万円の独自予算をもち、提案をまちの政策に反映させることができます。</p> <p>↑少年議会(2021年) 少年議会は、若者の政治参加においてどのような意味があるのだろうか。</p> <p>↑p.106</p>
アクティブ公民 「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」		
学習を振り返ろう		

第3部「経済」では、全体の学習の流れを「経済のしくみと消費」→「企業」→「市場と金融」→「財政」→「日本経済のこれから」とし、「自分ごと」として考えられるよう、身のまわりのことから始めています。各節末では、次節につながる内容を置き、スムーズな流れで学習できます。その中で「持続可能な社会の実現」を積極的に構想する意識を育めるようにしています。加えて、抽象的な概念の用語が多くなるため、かみ砕いた本文でわかりやすく解説しています。(本資料p.15)

第1章 経済活動と私たち	
学習の前に	「暮らしのなかから経済を探してみよう」
第1節	経済のしくみと消費
アクティブ公民	「もしも無人島に漂着したら？」
アクティブ公民	「一人暮らしにはお金がいくらかかる？」
第2節	企業と生産
アクティブ公民	「パン屋さんを起業してみよう」
第3節	市場経済と金融のしくみ
第4節	財政と私たち
アクティブ公民	「赤字バス路線に税金を使うべきか？」
第5節	日本経済の課題とこれから
学習を振り返ろう	

「経済とは何か」→「家計」→「流通」→「契約と消費者問題」という構成にしています。「ものを買う」という身近な活動を事例に「家計」「流通」という経済の基本概念を学習します。節末は「契約と消費者問題」とし、次節につながります。

「企業とは何か」→「企業の形態」→「企業間競争」→「労働・雇用」→「社会的責任」という構成にしています。各見開きにアクティブ公民「パン屋さんをつくろう」を設置し、シミュレーションで企業の学習ができます。テレワークや雇用の多様化など、新しい動きも学びます。節末の企業の「社会的責任」での「市場や社会への責任」の学習は、次節へつながる内容となっています。

「市場経済と価格」→「貨幣」→「金融」→「日本銀行と金融政策」という構成にしています。身近な事例で市場経済のしくみや価格を学んだのち、関連する貨幣や金融を学習する流れとしています。節末には「日本銀行と金融政策」を設置し、次節へつながる内容となっています。

「財政とは何か」→「税金」→「社会資本」→「社会保障」→「これからの財政」という構成にしています。「社会資本」では公害を、「社会保障」では少子高齢化などを扱うことで、「これからの財政」へとつなげています。現在の日本の財政上の課題から、次節の日本経済の学習につながります。

「景気変動と経済成長」→「物価の変動」→「為替レート」→「これからの日本経済」という構成にしています。景気の変動のしくみを学んだのち、為替レートや円高・円安というグローバルな動きとその影響を学ぶようにしています。最後に日本を取り巻く環境と、これからの日本経済を考えることで、社会参画の意識を育めるようにしています。

↑p.150

第4部「国際」では、紛争や貧困、地球環境問題の現状を理解した上で、国際社会のよりよい発展に向けて、国際社会やNGO、そして私たちができる取り組みを考えられるようにしています。

第1章 国際社会と私たち	
学習の前に	「地球的課題を探してみよう」
第1節	国際社会のしくみ
第2節	地球的課題とその解決
アクティブ公民	「2040年の日本の電源構成案を提案しよう」
学習を振り返ろう	

第1節では、国家や領土、国際連合といった国際社会のルールや枠組みを理解できるようにしています。それをもとに、第2節では、紛争と平和、環境問題、貧困といった個々の課題について考えられるようにしています。

**ポイント**  
国際社会の脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて紹介しています。

# 第5部 課題探究学習

第5部「課題探究学習」では、中学校社会科の総まとめとして、「持続可能な社会を実現する」という観点から諸問題の解決方法を考察・構想して、「レポート」としてまとめることができるようにしています。

## 第1章 課題探究と私たち

**ポイント**  
各章末の「学習を振り返ろう」にある「探究学習への準備」をまとめる単元としています。この学習を通して「主体的な学び」ができるようにしています。

# 「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫ができるよう、資料や本文を工夫しています。教科書の巻頭8では、「現代社会の見方・考え方」とは何か、具体的な事例を示しながら端的にわかりやすく説明しています。

## 現代社会の見方・考え方

公民的分野では、現代社会の見方・考え方として、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義、分業と交換、希少性、協調、持続可能性などを働かせながら学びを深めていきます。ここでは特に、対立と合意、効率と公正について、具体的に見ていきましょう。

### ● 対立と合意、効率と公正 ●

#### 部活動のグラウンド割りをどう考える？

ある中学校では、グラウンドを使う部活動の間で、使用する面積や使い方について意見が分かれていました。どのように解決すればよいでしょうか。



どの部活も平等に、均等な広さでグラウンドを使うのがいいんじゃないかな。

部活動の実績を重視して、グラウンド割りを考えてもいいんじゃない。

部員の数で考えるのがいいと思う。人数が多ければ、それだけ広い面積が必要になるよ。

むだなく使えるように、曜日ごとにルールを決めてはどうだろう。でもみんなが納得できるか不安。

**対立** (p.17)

考え方や利害の違いから起こるさまざまな問題

**合意** (p.17)

互いが受け入れられる解決を見いだすこと

↑

**効率** (p.18)

- 問題の解決に効果があるか
- 時間や費用をむだにしているか

**公正** (p.18)

- みんなが決定に参加する機会があったか
- 他人の権利や利益を侵害していないか
- 立場が変わっても、その決定を受け入れられるか

対立と合意、効率と公正の見方・考え方を、このあと学習するさまざまな場面で働かせていきましょう。

部活名	部員数	実績
サッカー部	男子 22 名	県大会出場、県大会 1 回戦敗退
テニス部	男子 15 名 女子 20 名	男女ともに県大会出場 女子関東大会出場
野球部	男子 55 名	市大会敗退、県大会出場ならず
陸上部	男子 22 名 女子 10 名	男子駅伝県大会出場 女子走り高跳び全国大会出場

↑巻頭8

### ポイント

巻頭8「現代社会の見方・考え方」では、「対立と合意」「効率と公正」をもとに、「見方・考え方」を働かせる一例(部活動のグラウンド割り)を示しています。

### 対立から合意へ

社会的存在としての私たちは、直接的あるいは間接的に、職業や生活スタイル、年齢などが異なる多様な人々と関わり合いながら、共に暮らしています。人はそれぞれの考え方や利害をもっているため、意見の違いから人々の間に問題や争いといった**対立**が起きてしまうことがあります。

しかし、問題を残して対立したままでは、私たちの社会はうまくいなくなってしまいます。左ページの地域の人々も、よりよい生活を送れるようにするためには、互いの主張の趣旨をよく理解したうえで折り合いをつけなければなりません。私たちは、話し合いや交渉などを通じて決定を行い、**合意**をつくり出すことで問題を解決し、社会を動かしていく必要があります。

### ポイント

「現代社会の見方・考え方」について、中学生の目線に立ったかみ砕いた本文で、わかりやすく解説しています。

### 効率とは

合意とは、人間社会で起こる対立を解消し、人々が共に生きることができるようよりよい社会をつくるための取り決めです。よりよい合意をつくるためには、**効率**や**公正**といった見方・考え方を踏まえる必要があります。

### 公正とは

よりよい合意をつくるためには、公正の考え方も欠かせません。公正とは、互いの意見を尊重し、合意によって得られる結論が一人ひとりに最大限配慮したものになっているかどうかを大切に考える考え方です。みんなが決定に参加したかといった**手続きの公正さ**、ほかの人の権利や利益を不当に侵害していないか、立場が変わっても受け入れられるかといった**機会の公正さ**や**結果の公正さ**などに配慮することも大切です。

↑p.17-19

### ポイント

#### 見方・考え方アイコン

NEW

「学習を振り返ろう」ページや「アクティブ公民」ページ、本文ページの資料解説やコラムに設置しています。「見方・考え方」を働かせる場面やその方法を示しています。

#### 見方・考え方

民主主義における多数決のあり方について考えてみよう。

# 「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫

地図帳やさまざまな資料を活用しながら、学習を深めることができるよう、「技能をみがく」や「地図帳活用」を設置しています。

**ポイント**

**技能をみがく**

公民的分野で使うロールプレイングやディベート・ディスカッションなどの技術を着実に習得できるよう、「技能をみがく」を全6テーマ設置しています。

↓p.167

**技能をみがく** 6 ディスカッションをやってみよう

ディスカッション(議論)とは、あるテーマに対してさまざまな立場から、自由に意見を出し合う方法です。ディスカッションによって、一つの物事に対し多くの考え方があつてくることを知ることができます。下のツールモデルで自分の考えを整理しながら、赤字バス路線に税金を使うべきか、ディスカッションをしてみよう。

事実・データ  
主張  
理由づけ

●ディスカッション(議論)の注意点

- 必ず根拠に基づいた主張をする。不正確な情報を根拠として提示しない。
- 相手の発言を途中でさえぎったり、むやみに否定したりしない。
- 自分の主張を批判されたからといって、相手をけなさない。

思考ツール 巻頭9

**ポイント**

**地図帳活用アイコン** 地図帳活用 **NEW**

日々の学習で地図帳をより活用できるよう、「**地図帳活用**」アイコンを**33か所**設置し、活用を促しています。地図帳との連携を図ることで、学習をより深められるようにしています。

「地域機構」の解説に関連付けて、EU加盟国の変化を地図帳で確認できます。

地図帳には公民での地図活用を促すためのアイコンが付いています(20か所)。

## 「技能をみがく」掲載ページ一覧(全6テーマ)

内容	ページ	内容	ページ
ロールプレイング(役割演技)をやってみよう	p.23	裁判傍聴をしてみよう	p.99
ディベートで議論を深めよう	p.65	カードを使って分析しよう	p.109
引用で主張に説得力をもたせよう	p.85	ディスカッションをやってみよう	p.167

**ポイント**

**18歳への準備** **NEW**

成人としての責任が生じる18歳に向けて身に付けたい「メディアリテラシー」「契約」「ライフプランや金利」などの実践的な知識や技能を学習内容と併せて習得できます。

↓p.128-129

**18歳への準備** 契約について考えよう

1) 私たちの生活は契約で成り立っている

2) 契約はいつから成立する?

3) 契約には実行する義務がある

TRV1

TRV2

TRV3

## 「18歳への準備」掲載ページ一覧(全3テーマ)

タイトル	ページ
メディアリテラシーを身につけよう	p.84-85
契約について考えよう	p.128-129
ライフプランから金融を考えよう	p.154-155

## 「地図帳活用」掲載ページ一覧(全33か所)

ページ	タイトル
p.4	1 多摩川の清掃活動
p.8	1 7か国語の防災パンフレット
p.13	2 ハラルフードを扱うコンビニエンスストア
p.41	4 普天間飛行場
p.43	3 民主主義指数
p.73	1 ジェンダーギャップ指数
p.82	2 参議院の定数別選挙区
p.92	1 省庁が集まる霞が関とその周辺
p.113	2 清水区の中心部
p.114	1 18歳・19歳の都道府県別投票率
p.133	4 周南コンビナート
p.148	2 石貨
p.180	1 チリの銅鉱山で稼働する無人の超大型ダンプトラック
p.184	解説① 領土・領海・領空
p.186	1 尖閣諸島の位置
p.186	3 南シナ海のサンゴ礁につくられた建造物
p.187	4 日本の排他的経済水域

ページ	タイトル
p.187	6 竹島の位置
p.191	4 パレスチナとイスラエル
p.193	4 世界の紛争地域
p.196	1 世界各地で起こるさまざまな異常気象
p.198	1 各地の再生可能エネルギーによる発電
p.198	3 世界のエネルギー消費量の推移
p.199	5 天然ガスの鉱場
p.203	3 1人あたりの国民総所得(GNI)と地域機構
p.203	解説② 地域機構
p.204	3 世界の地域別人口の推移と予測
p.205	5 栄養不足人口の割合
p.206	1 日本の主なP.KO
p.206	3 米づくりの指導をする技術協力プロジェクトの専門家
p.214	1 大阪万博
p.214	2 愛・地球博
p.214	4 大阪・関西万博の開催予定地



相互関連

↑地図帳p.53

その他の特色

「現代社会の見方・考え方」を働かせる工夫

# 社会科3分野共通の特色

## ① 3分野の連携を図った10のポイント

社会科3分野(地理・歴史・公民)での連携や、小学校との連携を図っています。「小・地・歴」アイコンを設置したり、「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーで関連する学習事項を提示したりしています。

### ① 主体的・対話的な学びを促す「導入」

本資料p.11-14

▶写真やイラストを効果的に使った導入を設けています。興味・関心を高めるだけでなく、これから学ぶ内容を見通すことができます。

**公民** ↓「学習の前に」  
教科書p.116-117など



**地理** ↓「写真で眺める」  
教科書p.64-65など



**歴史** ↓「タイムトラベル」  
教科書p.134-135など

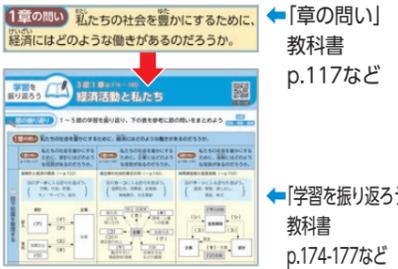


### ② 見通し・振り返りがしやすい単元構成

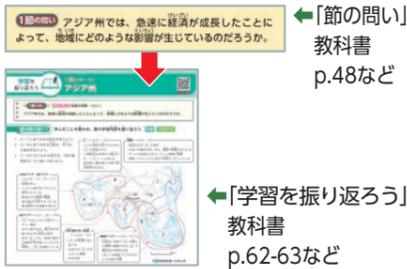
本資料p.19-28

▶単元の最初に設置している「章・節の問い」で学習の見通しを立て、章・節末の「学習を振り返ろう」で単元の振り返りができます。見通し・振り返り学習を積み重ねることで「章・節の問い」にせまれるよう、「問い」を構造化しています。

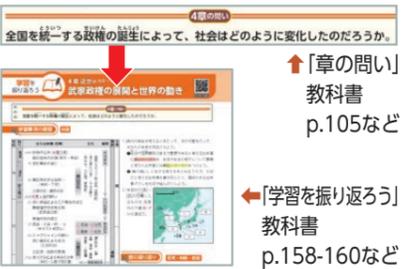
**公民**



**地理**



**歴史**



### ③ 「主体的・対話的で深い学び」を促す「アクティブ」

本資料p.29-32

▶設定されたパフォーマンス課題について、単元の学習を生かして考察し、他者との意見交換を通して学びを深めることができます。

**公民** ↓「アクティブ公民」  
教科書p.166-167など



**地理** ↓「アクティブ地理」  
教科書p.281、282など



**歴史** ↓「アクティブ歴史」  
教科書p.156-157など



### ④ 毎時間の学習における「問い」

▶章・節の「問い」を受けて、見開きには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」を設置し、学習の到達点を毎時間確認できます。

本資料p.20-21、23-24

**公民**

本文ページ  
教科書p.134-135など

**地理**

本文ページ  
教科書p.50-51など

**歴史**

本文ページ  
教科書p.148-149など

### ⑤ 各所で働かせる「見方・考え方」

▶深い学びのカギとなる「見方・考え方」は、本文ページや章・節末の「学習を振り返ろう」など、さまざまな箇所で見つけることができます。

本資料p.45-48

**公民**

教科書  
巻頭8、p.17-19

**地理**

教科書  
巻頭8、p.78など

**歴史**

教科書  
巻頭8、p.159など

### ⑥ 防災意識を育む工夫

▶地理では災害の要因となる現象、歴史では災害の経験、公民では災害に対する行動を扱い、防災意識を育めます。

本資料p.63

**公民**

「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」  
教科書p.16など

**地理**

「日本のさまざまな自然災害」  
教科書p.146-151など

**歴史**

「未来に向けて」  
教科書p.97など

### ⑦ 我が国の領土への理解を深める工夫

▶地理では日本の領域の範囲、歴史では領土画定の経緯、公民では国としての対応を扱い、日本の領土について正しく理解できます。

本資料p.63

**公民**

「領土を巡る取り組み」  
教科書p.186-187など

**地理**

「日本の領域とその特徴」  
教科書p.18-19など

**歴史**

「日本の領土画定と近隣諸国」  
教科書p.286-287など

### ⑧ 地図の活用を促す工夫

▶「地図帳活用」を設置し、活用場面がよりわかりやすくなっています。また、豊富な地図の読み取りを通して、空間認識能力を高めます。

本資料p.48

**公民**

教科書  
p.186-187など

**地理**

教科書  
巻頭10、p.226  
など

**歴史**

教科書  
p.69など

### ⑨ 小学校・他分野との関連を図る工夫

▶小学校や他分野の学習事項を生かせるよう、問いの文章を工夫したり、アイコンや側注で既習事項を提示したりしています。

本資料p.19、p.22

**公民**

小 地 歴

小学校・地理・歴史・他教科との関連

**地理**

小 歴 公

小学校・歴史・公民・他教科との関連

**歴史**

小 地 公

小学校・地理・公民・他教科との関連

### ⑩ SDGsへの意識を育む工夫

本資料p.33-36、49-50

▶「未来に向けて」では、地理では地域の事例、歴史では過去の経験、公民では自らが考える課題として、SDGsについての理解が深まるようにしています。

**公民**

↓「未来に向けて  
よりよい社会を目指して」  
教科書 巻頭1-2



**地理**

↓「未来に向けて  
よりよい社会を目指して」  
教科書 巻頭1-2



**歴史**

↓「未来に向けて  
よりよい社会を目指して」  
教科書 巻頭1-2



# 社会科3分野共通の特色

②学習がより深まる他分野および地図帳との連携 ～「未来に向けて」を活用して～

「未来に向けて」は、未来の社会をつくる取り組みを紹介するコラム・特設です。地理・歴史・公民共通で設置しており、分野をまたいで学習を深めたり、多面的・多角的な見方を養ったりします。このページでは「環境保全」をテーマに、中学校社会科でどのように学びを展開していけるか一例を示しています。

1・2年生

3年生

**未来に向けて** 脱炭素社会に向かうヨーロッパ **環境・エネルギー**

ヨーロッパでは、脱炭素社会(→p157)に向けた取り組みが数多くみられます。再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境への負荷が小さい鉄道の利用促進、電気自動車の普及に向けた充電スタンドの設置などがみられます。

2018年ごろからは、ヨーロッパの各地で、多くの人が参加し、政府に対して気候変動への対策を訴えかける運動も活発になっています。脱炭素社会の実現のためには、それを支える技術革新やしきみづくりとともに、個人がもつ意識の変化も重要となってきます。

→4 フランスのパリに向かう国際夜行列車に乗り込む人々(オーストリア、ウィーン、2021年) 航空機や自動車に代わる長距離の移動手段として、夜行列車の利用が見直されています。



↑地理的分野 p.75

## 地理的分野

現状を学ぶ・地域の事例を学ぶ

地理的分野の学習では、環境保全のために世界・日本で行われている取り組みを紹介しています。「脱炭素社会に向かうヨーロッパ」では、環境負荷の小さい移動手段として、夜行列車の利用が見直されていることを紹介しています。

**未来に向けて** 江戸のごみを利用した農業 **環境・エネルギー**

江戸時代半ば、砂村(現在の東京都江東区)では、野菜の促成栽培が行われました。江戸の町から出るごみを堆積し、発酵の際に出る熱を利用して早めに種をまくことで、早めの収穫を行いました。砂村の野菜は、初物好きの江戸の人々の間で大人気となり、高値で取り引きされ、ブランド野菜として將軍への献上品にもなりました。また、砂村のねぎやきゅうり、にんじんなどの野菜の品種は各地で栽培されるようになりました。



→9 砂村の品種から生まれたねぎ

↑歴史的分野 p.155

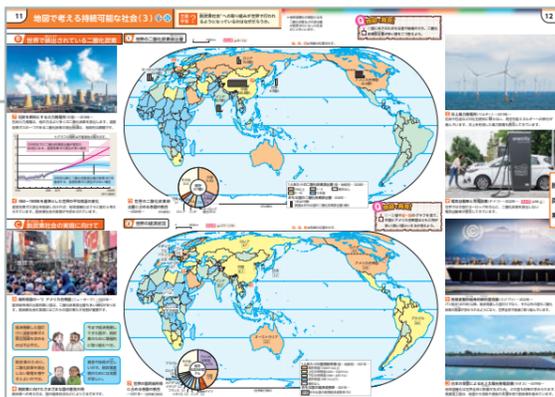
## 歴史的分野

過去の取り組みを学ぶ

歴史的分野の学習では、環境保全のために過去に行われていた取り組みを紹介しています。「江戸のごみを利用した農業」では、ごみを発酵させるときに発生する熱で野菜の促成栽培が行われていたことを紹介しています。

**地図帳**

地図帳は各分野で幅広く活用できる社会科共通の教科書です。地図帳p.11-12では脱炭素社会の実現に向けた取り組みに関するさまざまな資料を掲載しています。各分野の学習で活用することで、より学びを深めることができます。



↑地図帳 p.11-12

## 地図帳

地図帳は各分野で幅広く活用できる社会科共通の教科書です。地図帳p.11-12では脱炭素社会の実現に向けた取り組みに関するさまざまな資料を掲載しています。各分野の学習で活用することで、より学びを深めることができます。

**未来に向けて** 環境保全への取り組み **環境・エネルギー**

① ごみの焼却炉から金・銀を回収(神奈川県相模原市)  
神奈川県相模原市は、2021年度の1年間に一般ごみとして捨てられた電子機器などから、金・銀それぞれ約15kgを回収することに成功しました。市内の焼却炉では、高温に熱された砂を用いて、ごみを煮し焼きにしています。ごみの多くはガスとなって燃焼しますが、電子機器の基板などに含まれる貴金属は燃え残り、焼却炉の底にたまっていきます。相模原市は3年前から焼却炉メーカーと共同で、この焼却炉の砂の中から金・銀を回収する技術を開発してきました。その結果、21年度に回収した金・銀は約1億3000万円分となり、回収費用の約1億円を差し引いて、約3700万円の収益を上げました。収益は清掃工場の補修費や環境啓発活動などに使われています。



↑1 焼却炉から回収された砂や金のレプリカ(2022年)

② 日本最大級の電力消費企業の脱炭素への挑戦(三重県四日市市)  
三重県四日市市で創業したA社は、全国に約2万店舗を展開し、日本全体の電力の約1%を消費する日本最大級の電力消費企業です。A社は2018年に脱炭素に向けた計画を定め、店舗で排出する二酸化炭素などを50年までに総量でゼロにするという目標を掲げました。また、中期目標として30年までに店舗の使用電力の50%を再生可能エネルギー(→p.198)に切り替えるとしています。A社は二酸化炭素排出量の約9割が電力によるもので、省エネルギー設備を導入して使う電力を減らしたり、太陽光パネルを設置して再生可能エネルギーへ転換したりすることで、目標の達成を目指しています。また、電力会社と連携して個人の家庭で発電された電気を買い取り、買い物に使えるポイントで還元するしくみも導入しています。20年には使用電力のすべてを再生可能エネルギーで賄う店舗も誕生しました。



↑2 店舗に太陽光パネルが設置されたA社のショッピングセンターの立体駐車場(神奈川県相模原市、2020年)

NEXT2030へのヒント 2030年のSDGs達成とその先を目指して

私たちの生活は多くのモノやエネルギーを消費して成り立っています。モノやエネルギーを安定的に確保することは、豊かな社会を維持していくためには不可欠です。しかし、人々の経済活動の拡大によって、地球温暖化などの地球環境問題が広がっており、大量消費を前提とした社会は持続可能とはいえなくなっています。これからは、地域社会や地球環境へ与える影響も考慮しながら、モノやエネルギーをどのようにつくり、使い、処分するかを考えていく必要があります。私たち消費者もひとりでなく、ふだんの生活や消費活動を見直していくことが大切です。

## 公民的分野

未来の社会をつくる行動を考える

公民的分野の学習では、環境保全のために行われている取り組みと、今後の展望を「NEXT2030へのヒント」で取り上げています。「環境保全への取り組み」では、自治体と企業の取り組みを紹介しつつ、消費者も普段の生活や消費活動を見直すことが大切だと結んでいます。環境保全を「自分ごと」として捉え、自分たちにできる取り組みを考えさせることができます。

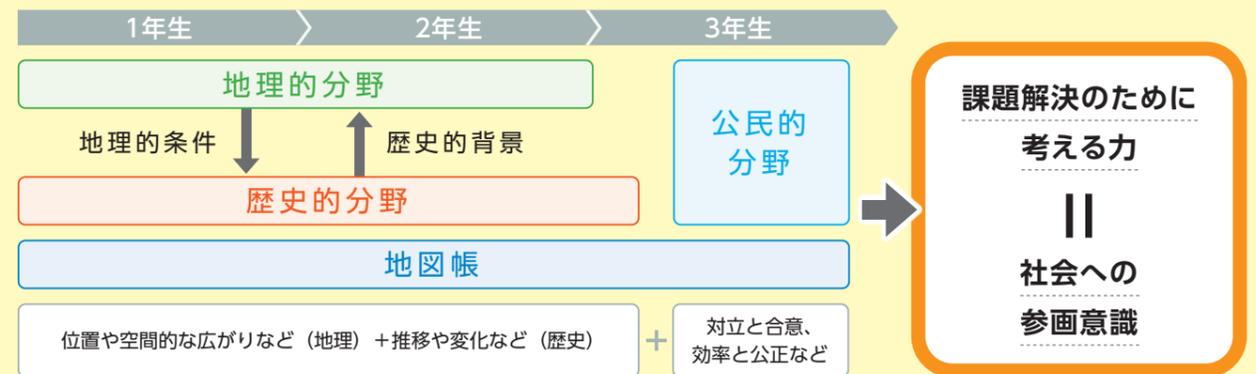
自分たちにできる取り組みについて、地理や歴史の学びをヒントに考えることができます。

←公民的分野 p.178

## ポイント

### 分野間連携の必要性

下の図のように、中学校社会科は地理と歴史を関連付けながら学び、その蓄積を踏まえて公民の学習がある構造になっています。そのため、どの分野においても教科全体を見通したカリキュラム・マネジメントが必要です。



帝国書院の教科書では、単元構成・紙面構成を統一し、コラムや特設なども共通にすることで、カリキュラム・マネジメントをサポートしています。これにより、分野をまたいだ深い考察や多面的・多角的な見方を養うこともできます。

共通の特色

学習がより深まる他分野および地図帳との連携

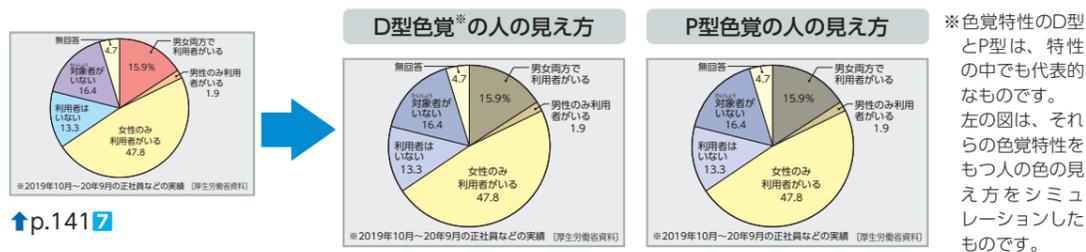
# サポート

## ① インクルーシブ教育への対応

すべての生徒が使いやすいよう、ユニバーサルデザインに基づいた編修をしています。

### ① カラーユニバーサルデザインに配慮した見やすくわかりやすい色調

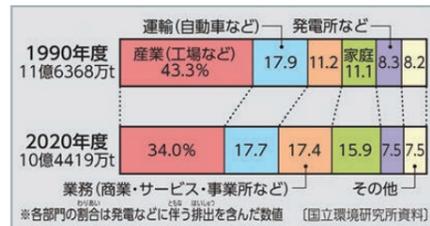
色覚特性をもつ人が同じように見えやすい色づかいに配慮したり、境界線を黒ではっきりと書いています。



### ② インクルーシブ教育に配慮した表現

#### 帯グラフ

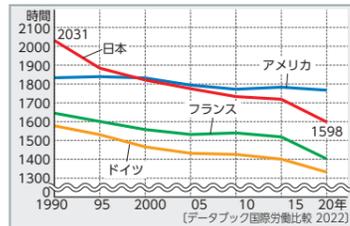
どこまでが同一の資料であるのか判別しやすいよう、図の周囲をグレーで囲んでいます。右の図の場合、2つの帯グラフが1つの資料を構成していることがわかります。また、引き出し線の起点を明確にするため、黒点で表現しています。



↑p.200

#### 折れ線グラフ

グラフが読み取りやすいよう、折れ線を太くし、背景を白色にしています。



↑p.141

### ③ 誤読を防ぐ読みやすい文字

誤読を防ぎ、すべての生徒にとって読みやすくなるよう、見開きタイトル、本文、図版タイトルなどにはユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用しています。

非UDフォント 行われています。

UDフォント 行われています。

- 文字の細い部分を太くして、見えやすくする。
- 紛らわしい画線をやめ、シンプルなデザインにする。
- 濁点部分のすきまを十分確保して視認性を高める。特に濁点のあるふりがなが読みやすくなっています。

非UDフォント 1946年11月3日

UDフォント 1946年11月3日

- 文字と線が判別しやすい。特に数字の「9」と「6」の区別や、数字の「3」とアルファベットの「S」などの判別がしやすくなっています。

### ④ 学習単元がわかる工夫

現在学習しているのがどの章なのか一目でわかるよう、章ごとに色をわけています。

2節

企業と生産

### ⑤ 学習が進めやすい工夫

- ▶レイアウトの違いによる生徒の混乱を防ぐため、導入資料や学習課題、振り返りの設問を各ページの同じ場所に配置し、見開きのレイアウトを原則統一しています。
- ▶見通し・振り返りがしやすいよう、「導入資料、学習課題(見通し)→本文→確認しよう、説明しよう(振り返り)」で見開きの展開を統一しています。

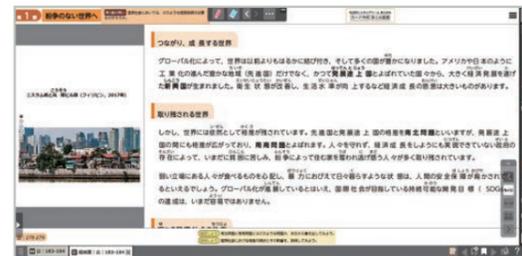
詳しくは本資料 p.19-24

# インクルーシブ教育のためのデジタル教科書の機能

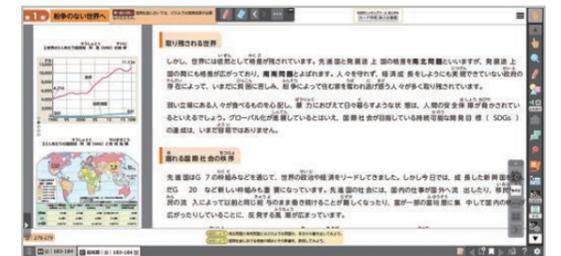
## 超紙面

NEW

学習用端末での閲覧に最適化されたWeb紙面です。2画面表示で左面が図版、右面が本文となっており、ユーザーが幅を自由に変更できます。また、右面の教科書本文の表示に合わせて、左面には本文に対応した図版が表示されます。本文や資料を大きく見やすく表示させ、関連性をつかみながら学習できます。



↑図版は左面、本文は右面に表示されます。



↑右面の本文の内容に連動して、左面の図版が表示されます。

本文部分を下にスクロール

「超紙面」機能のほかにも、総ルビや白黒反転、読み上げ機能を搭載しています。

その他のデジタル教科書の機能は本資料 p.57-58

→総ルビと白黒反転機能で表示した紙面



# 特別支援教育のための教科書と地図帳

## 『拡大教科書』(無償給与対象)

▶文字や資料を大きく目立たせ、レイアウトを見やすく改善しています。

### ■ ページ数の比較 (令和3年度版中学校用公民教科書の場合)

通常教科書	拡大教科書(7冊分)
全246ページ	全2,040ページ

### ■ 同サイズでの紙面の比較 (画像は令和3年度版)



↑通常教科書

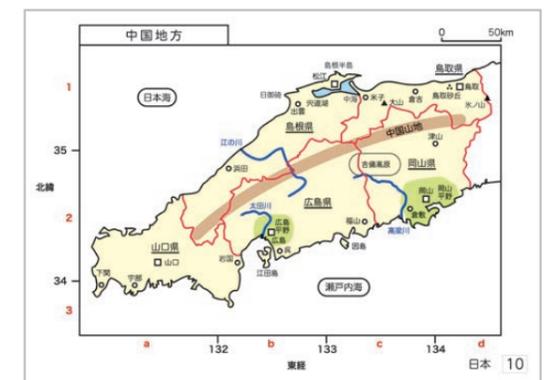
↑拡大教科書

## 『みんなの地図帳 ~見やすい・使いやすい~ 初訂版』

(有償)

▶記載内容を大幅に精選し、見やすくなるよう工夫しています。

日本視覚障害社会科教育研究会編集、帝国書院発行



サポート

インクルーシブ教育への対応

# サポート

## 教師用指導書

サンプルはこちら



URL : <https://www.teikokushoin.co.jp/jhs/07shidouso/>

紙媒体で提供する教科書解説編と指導・評価編、およびコンテンツをダウンロードして使う  
指導書Webサポートの3点セットで、毎日の授業をサポートします。

※各コンテンツの名称は、変更になる可能性があります。

## 指導書(教科書解説編)

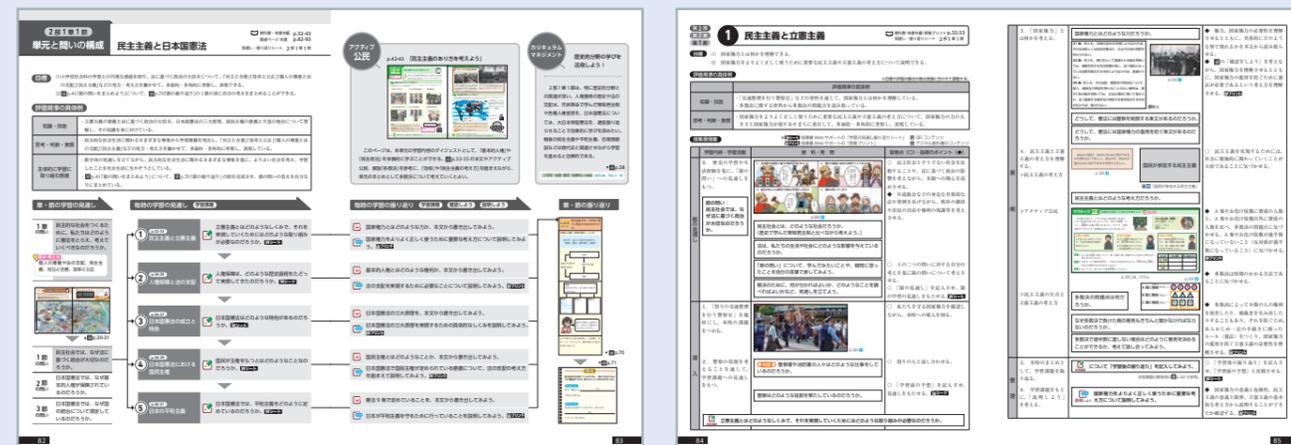
教科書紙面の縮刷版を中心に置き、まわりに教科書の解説や授業のポイント(板書例)、「確認しよう」「説明しよう」の解答例などを掲載しています。



▶本文ページのイメージ  
(画像は令和3年度版)

## 指導書(指導・評価編) 大改訂

年間指導計画案、単元構成案、授業展開案や評価規準例を掲載しています。  
デジタル教科書・教材を活用した展開案も掲載しています。



↑単元構成案のイメージ

↑授業展開案のイメージ

## 指導書Webサポート

### 評価問題(テスト例)

定期考査作成の参考にできます。各問に「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価観点を付しているため、評価の参考にもなります。地理・歴史の評価問題(テスト例)も利用できます。



### 学習の見通し・振り返りシート

節ごとの見通しを立て、最後に振り返ることができるプリントです。単元の学習の前と後で、生徒の考えがどのように変容したか見取ることができ、評価につなげることができます。



### 授業プリント

全単元に対応しています。授業だけでなく、生徒の自学自習にも活用できます。



### 「学習を振り返ろう」ワークシート

「学習を振り返ろう」ページに準拠したワークシートです。知識の確認から、章・節の問いに対する考えをまとめられます。



## NEW 「アクティブ公民」ワークシート

「アクティブ公民」ページに準拠したワークシートです。課題に取り組みやすくなり、「主体的・対話的で深い学び」を実践できます。



※その他、年間指導計画案も収録しています。 ※一部画像は現行のものです。

# サポート

## ③ デジタル教科書・教材

体験版はこちら  
(2024年5月以降  
お試しください。)



URL : [https://ict.teikokushoin.co.jp/07jh\\_campaign/trial/index.html](https://ict.teikokushoin.co.jp/07jh_campaign/trial/index.html)

一斉授業から「個別最適な学び」と「協働的な学び」まで、生徒の学びをトータルサポートします。

※各機能やコンテンツの名称は、変更になる可能性があります。

### ① 学習者用 デジタル教科書

- 紙の教科書と同一の内容を収録。
- 拡大・縮小や書き消し、保存などの基本機能は標準装備。
- 特別支援機能を搭載。

### ② 学習者用 デジタル教科書+教材

- ①の機能はすべて収録。
- 教科書に準拠したコンテンツ集を収録。
- さらに、学習者用の新たな学習ツールや注目コンテンツも収録。

### ③ 指導者用 デジタル教科書(教材)

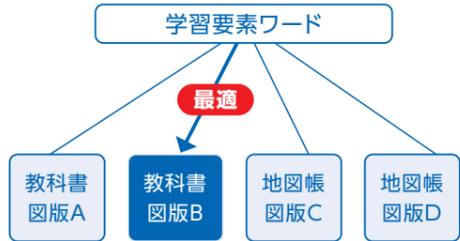
- デジタル教科書とデジタル教材の一体型。
- 特別支援機能を搭載。
- さらに、デジタル教科書+教材を活用した授業をサポートする授業支援ツールも収録。
- 教師用指導書(本資料p.59-60)と指導者用デジタル教科書(教材)のセット版も用意。

## 学習ツール NEW ~「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現させる新機能~

### 学びコネクト

~学習要素ワードの検索機能~

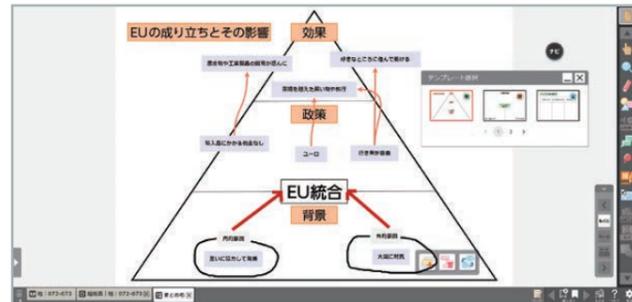
教科書の重要語句(=学習要素ワード)を検索すると、関連する紙面や図版を分野を超えて閲覧できる機能です。書目間連携が可能となり、複数の資料から生徒が主体的に学習に適した資料を選択することができます。



### まとめも

~社会科思考ツール~

教科書本文から語句を抜き出して、オリジナルの思考ツールにまとめることができる機能です。自分の考えを整理・構造化し、他者との意見交換を踏まえて再調整することができます。



## 各分野の注目コンテンツ NEW ※これらのコンテンツは②と③に収録されます。

地図帳	地理	歴史	公民
<b>主題図コンテンツ</b> 各州や各地方の主題図を「分ける」「比べる」「重ねる」の3つの手法で、さまざまな視点から読み解くことができます。	<b>写真で発見！世界の気候</b> 世界の気候の特徴を写真や雨温図から読み解くことで、気候の概念とその分布について楽しく学べます。	<b>タイムトラベル名探偵！</b> 教科書に収録されている「タイムトラベル」を3D復元。各時代の特徴を没入感をもって楽しく学べます。	<b>ぱんSim</b> ~パン屋さん経営大作戦~ 『社会科 中学生の公民』に収録されている「パン屋さんをつくらう」をシミュレーションゲーム化。企業や経営について楽しく学べます。

## 授業支援ツール

~学習者用デジタル教科書+教材との連携で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」をサポート~

### ① デジタル教科書 章・節まとめ案 NEW

思考ツールを活用したデジタル教科書オリジナルのまとめ案や評価規準案などを用意しています。

### ② デジタル版 学習の見通し・振り返りシート NEW

教科書に記載されている学習課題・確認しよう・説明しようの内容をGoogle Workspaceの機能で生徒が回答し、先生が集約できます。

### ③ 授業スライド

1時間の授業展開を10~15枚程度のスライドにまとめているので、デジタル教科書を活用した授業をすぐに始められます。

教師用指導書と共通

詳しくは本資料p.55

④ 単元構成案 ⑤ 授業展開案

〈学習者用デジタル教科書+教材と授業支援ツールを活用した授業展開イメージ〉



## おもな学習者用・指導者用共通コンテンツ

**レイヤー切り替え**  
教科書図版の表示要素を任意で選んで表示できます。

**動画コンテンツ**  
NHKエンタープライズと共同制作したデジタル教科書オリジナル動画を数多く収録しています。

**日本国憲法コンテンツ**  
日本国憲法の条文を見ることができます。難しい用語の解説も収録しています。

**経済年表コンテンツ**  
経済に関する年表を見ることができます。表示要素を任意で選択することもできます。

# 特色一覧

## ①教育基本法との対応

下表のExcelデータは  
こちら



教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
全体	<p>問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●章・節・各本文ページ冒頭には、学習内容を問い(「章・節の問い」「学習課題」)で示し、生徒自らが学習の見通しを持てるようにしている。章・節・各本文ページの末尾には課題(「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」)を設けている。問いには、協働的に学習する場面を設け、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるようにしている。</li> <li>●学習活動では、3つの資質・能力を特に育成する場面を設けることで、学習を見取ることができ、3つの観点に基づいた「指導と評価の一体化」が実現できるようにしている。</li> </ul>	おもに 特色3 p.19-32
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<p>理解しやすい本文と豊富な具体事例とビジュアル資料、大判イラストにより、意欲的に学びに向かう態度を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●章の冒頭に、大きなイラストから単元の学習の全体像を概観する特設「<b>学習の前に</b>」を設けている(全5か所)。イラストを<b>読み解く</b>活動を通じて、単元の学習内容と生活経験・既習事項を結び付けることで、学びに向かう意欲を喚起できる。(p.2、3、30-31、74-75、116-117、182-183)</li> <li>●各本文ページの<b>導入資料</b>(紙面の左上側)においても、同様の趣旨で、学習と直結する実社会の事象を、<b>躍動感ある写真・図版</b>とともに取り上げている。(p.106、136、146など)</li> <li>●本文は、具体的に例示したり、<b>社会的な事象の背景や因果関係までわかる</b>ようにしたりするなど丁寧でわかりやすくし、幅広い知識と教養を無理なく身に付けられるようにしている。(全編)</li> </ul>	おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-18
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<p>「現代社会の見方・考え方」を働かせて思考力・判断力を養う活動を通じて、<b>自主・自律の精神をもって創造に取り組む資質を育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>技能をみがく</b>」コーナーでは、ロールプレイングやディベート、ディスカッションなどのスキルを扱い、主体的な取り組みを促すことによって自主・自律の精神を養える。(p.23、65など全6カ所)</li> <li>●本文ページ中の各種写真・統計類において「<b>資料活用</b>」の問いを設けており、習得した技能を、生徒自身が日頃からみがいけるようにしている。(全編)</li> <li>●18歳までに習得したい実践的な知識を学ぶ、「<b>18歳への準備</b>」コーナーを3か所設け、知識・技能を実社会に即した形で身に付け、未来に生かせるようにしている。(p.84-85、128-129、154-155)</li> <li>●第2部第1章では、「<b>学習の前に</b>」から「<b>学習を振り返ろう</b>」までの一連の学習の流れを通じて、「現代社会の見方・考え方」の一つである「法の支配」に、無理なく着目することができるように配列を工夫している。</li> </ul>	おもに 特色3 p.19-32 特色5 p.37-40 および p.45-48

教育基本法第二条	特に意を用いた点や特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インクルーシブ教育に配慮し、<b>誰でも読み取りやすい書体(ユニバーサルデザインフォント)</b>や<b>色調を導入</b>することで、さまざまな特性をもつ生徒の価値を尊重して、その能力を伸ばせるようにしている。(全編)</li> <li>●<b>QRコンテンツ</b>を随所に設置することで、授業以外においても生徒が自主的に活用できるよう配慮している。(巻頭6など全45か所)</li> </ul>	おもに 特色3 p.19-32 特色5 p.37-40 および p.45-48
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<p><b>合意形成に向けた議論を行う活動の充実により、社会参画に向けた態度と資質を育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パフォーマンス課題を設定した<b>アクティブ・ラーニング型</b>の授業を行える「<b>アクティブ公民</b>」を、特設ページとして10か所、コラムとして31か所設けている。さまざまな立場を踏まえて議論を進めることにより、合意形成を促し、実社会に見られる課題の解決に向けた選択・判断に取り組む活動も行える。(特設ページ：p.22-23、42-43、64-65、98-99、108-109、120-121、130-131、144-145、166-167、208-209/コラム：p.39、81、133など全33か所)</li> <li>●各章の末尾の「学習を振り返ろう」の「<b>探究学習への準備</b>」ページでは、他の生徒が提示した視点を取り入れて、自分自身の思考を多角化するプロセスに重点を置いており、協働の意義を実感できる。(p.26、72、112、176、212)</li> </ul>	おもに 特色3 p.19-32
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<p><b>人権や環境・エネルギー、防災といった現代社会の課題を豊富に掲載し、持続可能な開発目標(SDGs)の意義への理解を育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「<b>未来に向けて</b>」コーナーでは、人権の尊重や環境保全、防災といった現代社会の課題を積極的に取り上げている。(p.7、51、137など全26か所)</li> <li>●第4部第1章第2節は、<b>SDGsの17の目標を意識した配列構成</b>にすることで、SDGsの視点を無理なく学習に結びつけることができる。(p.192-207) また、「アクティブ公民」では、将来の日本の電源構成案を考える活動を通して、持続可能な社会の形成に向けて、具体的に考えを深めることができる。(p.208-209)</li> <li>●第5部第1章は、<b>持続可能な社会の形成</b>に向けて解決すべき課題を探究することによって、中学校3年間の社会科の総まとめができるようになっている。(p.215-223)</li> </ul>	おもに 特色4 p.33-36
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<p><b>紛争と平和構築の内容の充実により、国際社会の平和と発展に寄与する理解を促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第4部第1章第1節の本文では、<b>国旗・国歌や領土</b>についての解説を重点的に行っている。領土については、国際法に則った日本政府の立場や解決に向けた取り組みを、丁寧に説明している。(p.184-187)</li> <li>●第4部第1章第2節の本文では、ロシアによるウクライナ侵攻をいち早く反映し、紛争の背景と<b>平和構築</b>への課題について丁寧に説明している。また、国際社会の平和の実現に向けた日本の貢献も紹介している。(p.192-193、p.206-207)</li> <li>●第1部第1章第2節の本文では、琉球文化やアイヌ文化といった多様な文化にもふれながら、<b>日本の伝統文化</b>とその継承についての解説を丁寧にしている。(p.12-15、28)</li> </ul>	おもに 特色4 p.33-36

# 特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

下表のExcelデータは  
こちら



観点	観点の内容	『社会科 中学生の公民』の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
教育基本法との対応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	●教育基本法第一条の目標および教育基本法第二条第一～五号に示された内容について、 <b>社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができるように構成されている。</b>	おもに p.59-60
学習指導要領への対応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	●単元構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って構成されている。「もくじ」[教科書を活用した学び方]「公民的分野の学習の全体像」では、 <b>単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が一望でき、学習の位置づけや見通しがかみやすいように工夫されている。(巻頭3-7)</b> ●部や章の学習内容を見通せる「学習の前に」、章・節ごとの単元を貫く問い、政治や経済などのしくみや概念が理解しやすい本文、単元の最後の「学習を振り返ろう」というように <b>単元が構造化され、見直し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。</b> ●学習指導要領で重視されている「 <b>社会的な見方・考え方</b> 」について、第1部第2章第3節「現代社会をとらえる枠組み」や特設ページ「アクティブ公民」など、全編にわたって充実している。 <b>(p.16-21、22-23など)</b> また、公民的分野の全体を通して鍛えていく「現代社会の見方・考え方」を整理したページが設けられ、わかりやすく説明されている。 <b>(巻頭8)</b> ●知識が確実に習得できるように丁寧な本文とし、本文の理解を促す資料を適宜設置している。また、基礎的な技能が身に付く「 <b>技能をみがく</b> 」コーナーが随所に盛り込まれ、 <b>公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。</b>	おもに 特色1-5 p.5-40 および p.41-48
内容の配列・分量・程度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、 <b>系統性</b> が考慮されているか。	●1見開きは1単位時間(以下、時間)の授業が想定され、学習課題が明確に設定されている。 ●授業数は、第1部に11時間、第2部34時間、第3部24時間、第4部14時間が配当され、標準授業時数100時間のうち90時間を活用する配当で、適切である。予備時間は10時間設けられている。	おもに 特色3 p.19-32
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	●本文は、 <b>具体的に例示したり、社会的現象の背景や因果関係までわかるようにしたりする</b> など、丁寧でわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の <b>発達段階が考慮</b> されている。 ●本文、図版タイトル、キャプションの難しい漢字にはふりがなが付されている。また、固有名詞や公民用語には適宜ふりがなが付されており、用語や熟語が正しく読めるように配慮されている。 ●文体は「です、ます」調の語り口で、 <b>生徒に親しみやすいよう</b> 配慮されている。 ●中学校学習指導要領の学習範囲を逸脱せず、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるようになっている。	おもに 特色1 p.5-10
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	●各見開きは、本文、資料、側注などが <b>統一されたレイアウトで配置され、紙面の使い方が整理されている。</b> 学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ●本文と資料の関連する箇所には、 <b>図・写真や他ページへの適切な参照指示</b> が記載され、学習効果を高めるとともに、効率よく資料の活用ができるように工夫されている。 ●各見開きでは、 <b>学習している分野がわかるように、部ごとの色が統一されている。</b> さらに、紙面右端に <b>インデックス</b> が設けられ、 <b>全体における位置づけを確認しながら学習できるように工夫されている。</b> ●用語解説や関連資料が本文のページの側注欄に掲載されており、ページ間を移動する時間が省け、生徒が集中力を切らさないで授業を進められる。	おもに 特色1 p.5-10 特色3 p.19-32
内容の扱い/学習活動	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「節の問いを振り返ろう」と章末の「学習を振り返ろう」というように、 <b>問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いを考えていくことで、課題解決的な学習ができる構成</b> になっている。 ●「学習を振り返ろう」では、「 <b>章の問い</b> 」に対して「 <b>社会的な見方・考え方</b> 」を働かせて考えるステップなどにより、 <b>課題解決的な学習ができる工夫がなされている。(p.174-177など)</b> ●「アクティブ公民」では、 <b>現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題</b> が設定されている <b>(p64-65、p166-167など)</b>	おもに 特色3 p.19-32
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●「学習の前に」では、大きなイラストから学習内容に関連した事項を探し出す作業を通じて、 <b>生徒の興味・関心を引き出し、「主体的な学び」を促すよう</b> 配慮されている。 ●単元を貫く「章の問い」、「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、章末の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、 <b>単元のまとまりのなかで「主体的・対話的で深い学び」が実現できる構成</b> になっている。	おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-18 特色3 p.19-32

観点	観点の内容	『社会科 中学生の公民』の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での特色と掲載ページ
内容の扱い/学習活動	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	●本文のページは左ページ上段に導入資料、右ページ上段に図版、写真、コラムを配置し、下部に本文を掲載する学習しやすいレイアウトで統一されている。また、相互にリンクが張られ、資料が活用しやすく工夫されている。 ●特設ページ「アクティブ公民」では、実社会で起きうる問題に対して、さまざまな立場から考察することを通じて、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。また、 <b>対話的な学習を通して、課題に粘り強く向き合い、さまざまな立場を踏まえて合意形成を目指す態度を身につけられるように工夫されている。(p.39、133、166-167など全43か所)</b> ●「学習を振り返ろう」では、 <b>学習した知識をもとに、「社会的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう</b> 配慮されている。 <b>(p.24-26、174-177など全5か所)</b> ●対話を促す「対話」アイコンを設置している。 <b>対話的な学びを通して、自身の考えをより深めるとともに、他社の意見を尊重する態度を身につけられるように工夫されている(全編)</b>	おもに 特色1 p.5-10 特色2 p.11-18 特色3 p.19-32
	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	●見開き1時間の紙面が、 <b>興味・関心を引く「導入」→学習を見通せる「学習課題」→丁寧にわかりやすい「本文」→学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識および技能が確実に習得できるよう</b> になっている。 ●部や章の冒頭にある「 <b>学習の前に</b> 」のイラストや資料から <b>学習内容を見直し、「学習を振り返ろう」で学習内容を振り返る学習活動</b> ができるようになっている。 ●本文は、全編にわたり社会的現象の背景や概念がわかるように <b>因果関係をふまえた上で、具体例を挙げながらわかりやすく記述</b> されている。 ●「技能をみがく」コーナーが6か所設けられ、 <b>学習する上で必要な基礎的な技能が習得できるよう</b> 配慮されている。 <b>(p.23、65、85、99、109、167)</b> ●本文側注およびQRコンテンツの中に <b>用語解説</b> が用意されている。	おもに 特色3 p.19-32 および p.45-48
	深い学びを実現させるための「 <b>思考力・判断力・表現力等</b> 」を育成するための配慮がなされているか。	●本文のページの見開き右下には、「確認しよう」と「説明しよう」が設置されている。「確認しよう」には本時の学習での習得事項を確認する作業課題が、「説明しよう」には本時の学習内容を活用して思考を促し、自分なりに判断・表現する問いが設けられている。これにより <b>言語活動を毎時間くり返し行い、思考力・判断力・表現力を育成できる</b> よう配慮されている。 ●各章末には「 <b>学習を振り返ろう</b> 」が配置され、 <b>章の学習で得た知識を生かして、「社会的な見方・考え方」を働かせつつ、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する課題</b> が設けられている。また、 <b>思考ツールを用いて自分の考えを整理・構造化</b> できるようになっている。 ●現代の社会で議論されているさまざまなテーマの賛否を示す「Yes No」のコーナーが4か所設けられ、生徒が自分の考えを整理できるようになっている。	おもに 特色3 p.19-32
	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる <b>社会的な見方や考え方を働かせる</b> ための配慮がなされているか。	●「対立と合意」「効率と公正」(第1部)、「個人の尊重と法の支配、民主主義」(第2部)、「分業と交換、希少性」(第3部)、「協調、持続可能性」(第4部)などの公民的分野における「 <b>現代社会の見方・考え方</b> 」を、 <b>各部の本文のページで丁寧に解説</b> している。さらに、特設ページ「アクティブ公民」や「章の学習を振り返ろう」などでは、具体的な事例や意見交換を通して、「現代社会の見方・考え方」を働かせられるように工夫されている。 ● <b>地理的分野や歴史的分野で働かせる「見方・考え方」</b> についても、教科書冒頭の「公民的分野の学習の全体像」で振り返るとともに、第5部第1章「課題探究と私たち」でそれらの「見方・考え方」を働かせながらレポートを作成するよう促し、 <b>関連が図られている。(巻頭8、p.215-223)</b>	おもに 特色3 p.19-32 特色4 p.33-36
内容の扱い/学習活動	生徒の <b>興味・関心</b> を喚起させ、「 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 」を育成する配慮がなされているか。	●幅広の判型(AB判)で、 <b>写真やグラフ、表などが大きく見やすく提示</b> され、学習への <b>興味・関心</b> が喚起されるように工夫されている。 ●部や章の導入として、学習内容を見通すことができるイラストで構成した「 <b>学習の前に</b> 」が設けられ、 <b>学習内容と生活との関連を見出し、興味・関心を高めてから学習に入ることが</b> できるようになっている。 ●生徒にとって親しみやすい中学生のキャラクターが各ページに配置され、 <b>発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示</b> することで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ●各見開きの左上に、1時間ごとの導入となる資料が設けられている。ワイドな写真からイメージを喚起したり、学習内容を直感的に理解できるイラストなどから生活との関わりを具体的にイメージしたりして、 <b>学習への意欲を引き出せる</b> ようになっている。	おもに 特色2 p.11-18 特色3 p.19-32
	小学校・高等学校との <b>接続や関連</b> に配慮がなされているか。	●部の冒頭にある「 <b>部扉</b> 」に「 <b>小学校で学習した事項</b> 」のコーナーが設置され、 <b>小学校での学習事項を振り返り、部などの学習内容を見通す</b> ことで、 <b>学習効果を高められる</b> ようになっている。 <b>(p.1など)</b> ●本文のページ下段には「 <b>小学校・地理・歴史・他教科との関連</b> 」コーナーが設けられ、 <b>小学校で学習した内容を確認</b> できるよう、 <b>関連用語が提示</b> されている。 <b>(p.184など)</b> また、資料には「 <b>小・地・歴</b> 」アイコンが付され、 <b>小学校の学習との関連を確認</b> できる。 <b>(p.38、p146など)</b> ●高等学校の3年生で18歳選挙権を行使する生徒がいることをふまえ、 <b>高等学校の前段階である中学校の公民的分野の学習において、主権者としての社会参画の意義</b> をさまざまな面から理解できる「 <b>18歳への準備</b> 」を設けている。 <b>(p.128-129など)</b>	おもに 特色3 p.19-32

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での 特色と掲載ページ
内容の扱い／学習活動	他分野との接続や関連に配慮がなされているか。	●本文ページ下段には「小学校・地理・歴史・他教科との関連」コーナーが設けられ、 <b>地理的分野・歴史的分野で学習した内容を確認できる</b> よう、関連用語が提示されている。(p.184など)また、資料には「小・地・歴」アイコンが付され、地理的分野、歴史的分野との関連を確認できる。(p.81、p.191など) ●積極的に地図が取り入れられており、地理的分野との接続が考慮されている。(p.193など) ●地図帳の活用が効果的な場面には「 <b>地図帳活用</b> 」のアイコンを付し、地図帳の活用を促している。(p.4など)	おもに 特色3 p.19-32 および p.45-52
	我が国の <b>伝統・文化、宗教に対する理解を深められる</b> 配慮がなされているか。	●第1部第1章第2節「私たちの生活と文化」において、伝統・文化や宗教について丁寧に解説するとともに、 <b>狂言師・野村萬斎さんのインタビュー</b> から、伝統・文化を継承し、創造していくことの大切さを実感できるようになっている。(p.14-15、p.28) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 伝統・文化</b> 」が2箇所設置され、伝統・文化に関する取り組みが紹介されている。(p.15、28)	おもに 特色4 p.33-36 および p.41
	我が国の <b>領土・領域を正しく理解できる</b> 配慮がなされているか。	●第4部第1章第1節「2領土をめぐる取り組み」において、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが明記され、領土に関する現状を示しつつ、平和的な解決に向けた方法が考えられるようになっている。(p.186-187)	おもに 特色4 p.33-36 および p.44
	<b>補充的な学習や発展的な学習</b> に対して、そのような工夫・配慮がなされているか。	●具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、 <b>基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすくなっている</b> 。 ●「未来に向けて」が設置され、現代社会の諸課題に取り組む人々の姿を示すことで、 <b>社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができる</b> ようになっている。(p.178-180など) ●「アクティブ公民」では、 <b>現代社会の諸課題を考察し、解決への取り組みを考えるパフォーマンス課題や、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習</b> を設置している(p64-65、p166-167、p133、135、137、139、141、143、144-145など)	おもに 特色3 p.19-32 特色4 p.33-36
生徒が家庭でも <b>主体的に自学自習</b> できる配慮がなされているか。	●「教科書を活用した学び方」を掲載し、 <b>自学自習がしやすい</b> よう配慮されている。(巻頭5-6) ●本文のページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設置され、予習・復習がしやすいようになっている。また、単元のまとめである「学習を振り返ろう」も復習しやすいよう配慮されている。 ●QRコンテンツでは、学習内容に関連する動画や「学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。(巻頭6など全45か所)	おもに 特色3 p.19-32 特色5 p.37-40	
今日的な課題への対応	「 <b>持続可能な開発目標</b> 」(SDGs)に関して、どのような配慮がなされているか。	●教科書最初の見開き「 <b>未来に向けて よりよい社会を目指して</b> 」では、SDGsに対する各地の具体的な取り組みが紹介されている。(巻頭1-2) ●第1部第1章第1節「 <b>私たちと持続可能な社会</b> 」では、持続可能な社会の考え方及び、持続可能な開発目標について解説されている。(p.4-5) ●各章末の「 <b>学習を振り返ろう</b> 」最終ページでは、SDGsの視点を活用して <b>探究課題を設定することで、第5部「課題探究学習」につながる</b> よう、工夫されている。(p.26、72、112、177、212) ●第4部第1章第1節「4持続可能な国際社会に向けて」では、「 <b>持続可能な開発目標</b> 」(SDGs)の達成に向けた <b>取り組みや課題</b> について解説されている。(p.190-191) ●第5部「 <b>課題探究学習</b> 」では、「 <b>持続可能な社会の実現</b> 」という観点から <b>考察・構想し、自分の考えをレポートとして論述</b> できるよう構成されている。(p.215-223) ●特設「 <b>未来に向けて</b> 」においては、関連の深いSDGsのマークが付されている。(p.178-180など)	おもに 特色4 p.33-36 および p.44
	<b>環境教育</b> に関して、どのような配慮がなされているか。	●第4部第1章第2節では、 <b>地球環境問題について、その原因や背景から、脱炭素社会の実現に向けた取り組みまで</b> 紹介されている。(p.196-201) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 環境・エネルギー</b> 」が7箇所設置され、環境・エネルギーに関する取り組みが紹介されている。(p.161、178、197、199、201、213、214)	おもに 特色4 p.33-36
	<b>防災</b> に関して、どのような配慮がなされているか。	●第1部第1章第3節では、 <b>地域の防災備蓄倉庫の設置の事例</b> を用いて現代社会の見方・考え方の学習を展開している。(p.16-21) ●第2部第2章第3節「 <b>アクティブ公民 自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう</b> 」では、 <b>地域防災への予算について考える場</b> を設けている。(p.108-109)。 ●教科書の最後のページで <b>中学生も参加している防災・減災の取り組みが掲載</b> され、生徒の参画意識を高めるように構成されている。(巻末2-3) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 防災</b> 」が4箇所設置され、防災に関する取り組みが紹介されている。(p.7、27、179、巻末2-3)	おもに 特色4 p.33-36 および p.41
	<b>人権・平和教育</b> の推進のために、どのような配慮がなされているか。	●第2部第1章「 <b>日本国憲法と私たち</b> 」において、 <b>人権の意義や課題</b> が解説されている。(p.30-73など) ●第2部第1章第1節「 <b>5日本の平和主義</b> 」において、日本国憲法における <b>平和主義の意義</b> が解説されているとともに、第4部第1章第2節「 <b>8国際社会における日本の役割</b> 」において、 <b>平和主義に基づく日本の国際協力のあり方を考えられる</b> ようになっている。(p.40-41、206-207) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 人権・多文化</b> 」が6箇所設置され、人権・多文化に関する取り組みが紹介されている。(p.9、11、51、52-53、73、114) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 平和・安全</b> 」が2箇所設置され、平和・安全に関する取り組みが紹介されている。(p.113、191)	おもに 特色4 p.33-36 および p.42

観点	観点の内容	本書の特色 ※(青字)は教科書のページ	本資料での 特色と掲載ページ
今日的な課題への対応	<b>グローバル化</b> に関して、どのような配慮がなされているか。	●第1部第1章第1節「3グローバル化が進む現代」において、 <b>グローバル化の概要と社会への影響</b> が解説されている。(p.8-9) ●第4部第1章第1節「4持続可能な国際社会に向けて」では、グローバル化が進む国際社会において、 <b>宗教や民族の違いを理解し尊重し合う態度</b> について解説している。(p.190-191) ●第4部第1章第2節「6国際社会の変化」において、 <b>国際社会の現状と国際協調の重要性</b> が解説されている。(p.184-185)	おもに 特色4 p.33-36 および p.41-44
	<b>少子高齢化</b> に関して、どのような配慮がなされているか。	●第1部第1章第1節「4少子高齢化が進む現代」において、 <b>少子高齢化の概要と社会への影響</b> が解説されている。(p.10-11) ●第3部第1章第4節「4社会保障と少子高齢化」において、 <b>少子高齢化の現状を踏まえた国の財政のあり方を考えられる</b> ようになっている。(p.162-163)	おもに 特色4 p.33-36 および p.41
	<b>情報化</b> に関して、どのような配慮がなされているか。	●第1部第1章第1節「2情報化が進む現代」において、 <b>情報化の概要と社会への影響</b> が解説されている。(p.6-7) ●第2部第1章第2節「8情報社会と人権」において、 <b>情報社会に関わる人権保障の新しい動き</b> が解説されている。(p.60-61) ●第3部第1章第5節「3これからの日本経済」において、 <b>経済のデジタル化や人工知能(AI)の発達などに伴うこれからの日本経済のあり方を考えられる</b> ようになっている。(p.172-173) ●コラム・特設ページ「 <b>未来に向けて 情報・技術</b> 」が4箇所設置され、 <b>情報・技術に関する取り組み</b> が紹介されている。(p.27、137、180、214)	おもに 特色4 p.33-36 および p.41-42
表記・表現	<b>統計、挿絵、写真、図表</b> などは鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連がはかれるなど学習効果を高めるための工夫がなされているか。	●本文の記述を補足する写真や図表などが <b>豊富に掲載</b> され、学習を深められるようになっている。 ● <b>学習内容に関連する事項についての参照ページ、参照資料の図番号、「条文参照」などのリンク機能</b> が設けられ、資料の活用を促している。 ●資料の読み取りのポイントを示した「 <b>資料活用</b> 」が随所に設置され、資料の活用を促している。 ●公民的分野の学習に必要な用語を解説した「 <b>解説</b> 」のコーナーが側注欄に38項目設けられている。 ●QRコンテンツの中に <b>用語解説</b> が用意されている。	おもに 特色3 p.19-32 特色5 p.37-40
	<b>特別支援教育やインクルーシブ教育</b> に対して適切な配慮がなされているか。	●本文や図版などでは、文字をはっきり読み取ることができる <b>ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)</b> が使用され、 <b>誤読を防ぐ</b> ように配慮されている。 ●見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、 <b>色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様</b> が使用され、 <b>カラーユニバーサルデザイン</b> に配慮がなされている。 ●色数の多いグラフや地図には、模様や線種、記号などが使用され、 <b>色以外での区別ができる</b> ように配慮されている。 ●図版が色で囲まれ、どこまでが同一の図版が読み取りやすいよう、配慮されている。 ●各見開きのデザインは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注などが <b>統一されたレイアウト</b> で整理されている。 ●紙面右端のインデックスには、章の学習内容が記載されていることで、 <b>一目で学習している単元がわかる</b> ように配慮されている。 ● <b>反射を抑えた紙</b> が用いられ、読み取りやすくなるように配慮されている。	おもに p.53-54
印刷・装丁等	<b>紙質や印刷の鮮明さ</b> など、生徒の利便性への配慮がなされているか。	●写真の印刷は <b>鮮明</b> で見やすくなっている。 ●表やグラフなどの図版は、 <b>記号や注記文字が明瞭</b> で読み取りやすいように配慮されている。 ●紙は、 <b>反射を抑えつつ、鮮明に発色して裏写りせず、かつ文字も書き込める軽量なもの</b> が使用されている。 ●生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、 <b>軽い紙</b> が用いられている。	おもに p.53-54
	<b>造本</b> は3年間の使用に耐えられる配慮がなされているか。	●表紙の材料は引っぱり、折りなどに強い用紙が使用され、さらに、表面の摩擦・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、 <b>長期間の使用に耐えられる</b> ように工夫されている。 ●製本は、針金綴じよりも <b>強度があり、かつ重量の軽いPUR製本</b> が用いられている。これにより本が大きく開くため、 <b>机の上に開いたまま置くことができる</b> ように工夫されている。	
	<b>用紙・インキ等</b> は、 <b>環境への配慮</b> がなされているか。	●古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。インキには国産米の米ぬかから作られるライスインキが使用され、 <b>環境保全への配慮</b> がなされている。 ● <b>針金を使わないPUR製本</b> により、 <b>資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなる</b> 。	
<b>サポート体制</b>	<b>デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制</b> はどのようなになっているか。	● <b>学習者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書+教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、拡大教科書</b> が令和7年4月までに発刊される予定である。	おもに p.55-56 p.57-58



# 『社会科 中学生の公民』の全体構成(もくじ)

令和7(2025)年度発刊  
公民046-92  
AB版 264ページ

部・章・節	おもな内容	教科書ページ	本資料での掲載ページ	
巻頭	未来に向けて よりよい社会を目指して	巻頭1-2	33-34	
	もくじ	巻頭3-4		
	教科書を活用した学び方	巻頭5-6		
	公民的分野の学習の全体像	巻頭7		
	現代社会の見方・考え方	巻頭8	45	
考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～		巻頭9	25-26	
第1部	現代社会	部扉	1	
現代社会	現代社会と私たち			
	学習の前に	45年前と今の社会を比べてみよう	2-3	
	第1節	現代社会の特色	4-11	
	第2節	私たちの生活と文化	12-15	
	第3節	現代社会をとらえる枠組み	16-21	
	アクティブ公民	マンションの騒音問題を解決しよう	22-23	
	学習を振り返ろう		24-26	
	未来に向けて	情報通信技術を活用したまちづくり	27	
未来に向けて	伝統を受け継ぎアップデートしていく	28		
第2部	政治	部扉	29	
政治	日本国憲法と私たち			
	学習の前に	暮らしのなかから憲法との関わりを探してみよう	30-31	
	第1節	民主主義と日本国憲法	32-41	
	アクティブ公民	民主主義のあり方を考えよう	42-43	
	第2節	基本的人権の尊重	44-63	
	未来に向けて	偏見や差別をなくすために	52-53	
	アクティブ公民	青果店の立ちのきについて考えよう	64-65	
	第3節	法の支配を支えるしくみ	66-69	
	学習を振り返ろう		70-72	
	未来に向けて	多様性を認め合う社会へ	73	
	政治と私たち			
	学習の前に	みんなが暮らしやすい社会をつくらう	74-75	
	第1節	民主政治と私たち	76-83	
	18歳への準備	メディアリテラシーを身につけよう	84-85	
	第2節	国の政治のしくみ	86-97	
	アクティブ公民	裁判員として裁判の判決を考えよう	98-99	
	第3節	地方自治と私たち	100-107	
	アクティブ公民	自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう	108-109	
	学習を振り返ろう		110-112	
	未来に向けて	地域の活性化と持続可能なまちづくり	113	
	未来に向けて	若者の政治参加を促そう	114	
	第3部	経済	部扉	115
	経済	経済活動と私たち		
学習の前に		暮らしのなかから経済を探してみよう	116-117	
第1節		経済のしくみと消費	118-127	
アクティブ公民		もしも無人島に漂着したら?	120-121	
18歳への準備		契約について考えよう	128-129	
アクティブ公民		一人暮らしにはお金がいくらかかる?	130-131	
第2節		企業と生産	132-143	
アクティブ公民		パン屋さんを起業してみよう	144-145	
第3節		市場経済と金融のしくみ	146-153	
18歳への準備		ライフプランから金融を考えよう	154-155	
第4節		財政と私たち	156-165	
アクティブ公民		赤字バス路線に税金を使うべきか?	166-167	
第5節		日本経済の課題とこれから	168-173	
学習を振り返ろう			174-177	
未来に向けて		環境保全への取り組み	178	
未来に向けて		自然災害から社会を守る社会資本の整備	179	
未来に向けて		暮らしの安全を守る日本の技術	180	
第4部	国際	部扉	181	
国際	国際社会と私たち			
	学習の前に	地球的課題を探してみよう	182-183	
	第1節	国際社会のしくみ	184-191	
	第2節	地球的課題とその解決	192-207	
	アクティブ公民	2040年の日本の電源構成案を提案しよう	208-209	
	学習を振り返ろう		210-212	
	未来に向けて	脱炭素社会の実現に向けて 地方公共団体の挑戦	213	
未来に向けて	持続可能な社会に向けて 大阪・関西万博	214		
第5部	課題探究学習	部扉	215	
課題探究学習	課題探究と私たち			
	第1章	課題探求学習	216	
		レポート作成の手順	216-223	
	高等学校への準備	223		
巻末	もっと広い世界へ、巻末資料(日本国憲法など)、さくいん		224-250	
	第二次世界大戦後の歩み		巻末1	
	未来に向けて 防災・減災を通じた社会参画(兵庫県神戸市)		巻末2-3	

## 『社会科 中学生の公民』著作関係者

※所属・肩書きは令和6(2024)年3月時点のもの

### 監修者

江口 勇治	筑波大学名誉教授	池上 彰	名城大学教授
-------	----------	------	--------

### 著作者

石本 貞衡	東京都練馬区立大泉中学校主幹教諭	佐藤 主光	一橋大学教授
井上 昌善	愛媛大学准教授	佐橋 亮	東京大学准教授
岩淵 公輔	東京都府中市立府中第四中学校 指導教諭	堤 拓	神奈川県横浜市立高田中学校 主幹教諭
鴛原 進	愛媛大学教授	中川 雅之	日本大学教授
小野 智史	香川大学教育学部附属高松中学校 主幹教諭	藤田 琢治	東京都目黒区立第九中学校 主任教諭
木村 草太	東京都立大学教授	松岡 尚敏	宮城教育大学教授
三枝 利多	東京都公立中学校元教諭	村松 剛	弁護士
佐藤 尚	大分県教育センター指導主事	吉村 功太郎	宮崎大学教授 株式会社帝國書院

### 編集委員

有吉 保和	東京都公立中学校元校長	志村 喬	上越教育大学教授
石上 和宏	東京都公立中学校元校長	土屋 武志	愛知教育大学特別教授
梅津 正美	鳴門教育大学理事・副学長	永田 忠道	広島大学准教授
米田 豊	兵庫教育大学名誉教授	濱野 清	兵庫教育大学教授
阪上 弘彬	千葉大学准教授	吉田 剛	宮城教育大学教授

### 編集協力者

井寄 芳春	大阪府立咲くやこの花中学校校長	新山 竜彦	北海道旭川市立広陵中学校教諭
勝野 陽介	岐阜県岐阜市立藍川中学校教諭	平山 裕人	コロボックル学びの家
後藤 浩一	広島県広島市立祇園中学校教頭	山口 偉一	関西福祉大学教職センター教授
武井 正樹	信州大学教育学部附属長野中学校 主幹教諭	山辺 慎太郎	北海道東神楽町立 志比内小学校教頭
田代 憲一	東京都町田市立薬師中学校主任教諭		

### 特別支援教育に関する監修・校閲者

柏倉 秀克	桜花学園大学教授	丹治 達義	筑波大学附属 視覚特別支援学校教諭
-------	----------	-------	----------------------

### 防災教育に関する監修・校閲者

矢守 克也	京都大学教授
-------	--------

# 中学校 社会科Webのご案内

中学校社会科Webは  
こちら



<https://www.teikokushoin.co.jp/jhs/>

帝国書院 中学校 検索

帝国書院 中学校社会科教科書のご案内

教科書 QRコンテンツ 教師用指導書 デジタル教科書・教材 Teikoku LABO

社会科で  
未来を拓く

令和7（2025）年度版  
教科書のご案内

地図帳	地理	歴史	公民
詳しく見る	詳しく見る	詳しく見る	詳しく見る

帝国書院の新しい教科書と、関連する教材をご紹介します。

令和7(2025)年度版 内容解説資料

部分サンプル

帝国書院

〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町3-29  
TEL 03-3262-4795(代)  
URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>  
©Teikoku-Shoin Co.,Ltd.2024

本資料に掲載している内容は、一部変更となる場合があります。  
本資料は、環境にやさしい再生紙・植物油インキを使用しています。  
本資料の無断転載・複製を禁じます。